平成２５年度
（２０１３年）

農作物有害動植物発生予察事業年報

島根県農業技術センター
島 根 県 病 害 虫 防 除 所

目　　次

Ⅰ. 事業の目的 …… 1
Ⅱ. 事業の実施の方針と概要 …… 1
Ⅲ. 事業対象有害動植物の種類 …… 1
Ⅳ. 事業実施組織と本年度の実施方法 …… 2
　１. 病害虫防除所における予察事業担当者 …… 2
　２. 病害虫防除員 …… 2
　３. 予察圃場設置一覧 …… 2
　４. 予察灯・フェロモントラップの設置一覧 …… 2
Ⅴ. 事業内容 …… 3
　１. 平成25年度における調査観察成績 …… 3
　　Ⅰ）　普通作物等 …… 3
　　（Ⅰ）イネ …… 3
　　１．イネの生育状況 …… 3
　　２．病害虫に関する調査結果 …… 3
　　１）葉いもち …… 3
　　２）穂いもち …… 4
　　３）紋枯病 …… 4
　　４）白葉枯病 …… 6
　　５）ヒメトビウンカ …… 6
　　６）ツマグロヨコバイ …… 7
　　７）ニカメイチュウ …… 8
　　８）セジロウンカ …… 9
　　９）トビイロウンカ …… 10
　　１０）コブノメイガ …… 11
　　１１）イネミズゾウムシ …… 12
　　１２）カメムシ類 …… 13
　　（Ⅱ）ムギ …… 14
　　１．ムギの生育状況 …… 14
　　２．病害虫に関する調査結果 …… 14
　　１）さび病類、うどんこ病、斑葉病、雲形病、赤かび病 …… 14
　　（Ⅲ）ダイズ …… 15
　　１．病害虫に関する調査結果 …… 15
　　１）ハスモンヨトウ …… 15

Ⅱ）果樹 16
（Ⅰ）ナシ 16
１．病害虫に関する調査結果 16
１）黒斑病、黒星病 16
２）ナシヒメシンクイ 19
３）ナシオオシンクイガ 20
４）モモシンクイガ 20
５）チャノコカクモンハマキ 21
６）チャハマキ 22
７）ハダニ類、カイガラムシ類 22
８）アブラムシ類 23
（Ⅱ）カキ 24
１．病害虫に関する調査結果 24
１）炭疽病 24
２）うどんこ病、円星落葉病、角斑落葉病、灰色かび病、果実黒すじ病 24
３）カキミガ 27
４）カメムシ類 27
５）チャノコカクモンハマキ 28
６）チャハマキ 28
７）カキクダアザミウマ 28
８）フジコナカイガラムシ 29
（Ⅲ）クリ 30
１．病害虫に関する調査結果 30
１）モモノゴマダラノメイガ 30
２）クスサン 30
Ⅲ）野菜 31
（Ⅰ）キャベツ 31
１．病害虫に関する調査結果 31
１）黒腐病 31
２）菌核病、軟腐病、根こぶ病、株腐病 31
３）モンシロチョウ 31
４）コナガ 31
５）ヨトウガ 32
６）ウワバ類 32
７）アブラムシ類 32
８）ハスモンヨトウ 32
９）シロイチモジヨトウ 33
10）オオタバコガ 34
11）キスジノミハムシ 34

（Ⅱ）タマネギ・・・

平成２５年度農作物有害動植物発生予察事業年報

島根県農業技術センター
島 根 県 病 害 虫 防 除 所

Ⅰ　事業の目的

病害虫の防除を適時で経済的なものとするため、病害虫の発生、農作物の生育及び気象などの状況を調査して、病害虫の発生を予察し、それに基く情報を関係者に提供する。

Ⅱ　事業実施の方針と概要

指定有害動植物に重点をおき、これらの病害虫の発生予察法の確立を図るとともに、農業普及部及び病害虫防除員などと連絡を密にし、確実な情報の収集に努め、発生予報、特殊報、注意報及びその他必要な情報をすみやかに提供して、適期防除による被害防止に努めた。また、県農業振興協会とは絶えず緊密な連絡をとり、重要な病害虫の発生に際しては、その都度資料を提示して適切な対策について協議決定し、防除に万全を期した。

Ⅲ　事業対象有害動植物の種類

１．普通作物等

１）イネ	指　定	いもち病、紋枯病、ニカメイガ、セジロウンカ、トビイロウンカ、ヒメトビウンカ、ツマグロヨコバイ、斑点米カメムシ類（ホソハリカメムシ、アカスジカスミカメ、クモヘリカメムシ、トゲシラホシカメムシ）、イネミズゾウムシ、コブノメイガ
	重　要	白葉枯病
２）ムギ	指　定	うどんこ病、赤かび病
	重　要	赤さび病、小さび病、斑葉病、雲形病
３）ダイズ	指　定	アブラムシ類、吸実性カメムシ類（ホソヘリカメムシ、イチモンジカメムシ、アオクサカメムシ）、ハスモンヨトウ
	重　要	ダイズサヤムシガ、ウコンノメイガ

２．果樹

１）ナシ	指　定	黒斑病、黒星病、ハダニ類（カンザワハダニ、ナミハダニ）、シンクイムシ類（ナシヒメシンクイ、モモシンクイガ）、ハマキムシ類（チャノコカクモンハマキ、チャハマキ）、カメムシ類（チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、ツヤアオカメムシ）
	重　要	カイガラムシ類（クワコナカイガラムシ）、アブラムシ類
２）カキ	指　定	カキノヘタムシガ、ハマキムシ類(チャノコカクモンハマキ、チャハマキ)、カメムシ類(チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、ツヤアオカメムシ)
	重　要	炭疽病、うどんこ病、円星落葉病、角斑落葉病、カキクダアザミウマ、フジコナカイガラムシ

３．野菜

１）キャベツ	指　定	黒腐病、菌核病、アブラムシ類（ダイコンアブラムシ、ニセダイコンアブラムシ、モモアカアブラムシ）、コナガ、ハスモンヨトウ
	重　要	株腐病、軟腐病、根こぶ病、シロイチモジヨトウ、モンシロチョウ、ヨトウガ、ウワバ類、オオタバコガ
２）タマネギ	指　定	さび病
	重　要	白色疫病、べと病、ボトリチス属菌による葉枯症、腐敗病・軟腐病
３）イチゴ	指　定	灰色かび病、アブラムシ類、ハスモンヨトウ
	重　要	ハダニ類
４）キク	指　定	アブラムシ類（ワタアブラムシ）

Ⅳ　事業実施組織と本年度の実施方法

農作物有害動植物発生予察事業実施要綱、同要領に準拠する。

１．病害虫防除所における予察事業担当者

職　名	氏　　名	担　当
科　　長	山 本　　淳	病　害
専門研究員	磯 田　　淳	病　害
〃	小 塚 雅 弘	虫　害
〃	奈良井 祐 隆	虫　害
〃	澤 村 信 生	虫　害
主任研究員	永 島　　進	病　害
研　究　員	町 田 清 貴	虫　害
〃	福 間 貴 寿	病　害

２．病害虫防除員

水稲、果樹に関する病害虫防除員は本県の主要産地である市町村に配置している。水稲１７ 名、果樹１名（カキ：益田市）。

３．予察圃場設置一覧

１）県予察圃場

種　類	設 置 場 所	品　　種　　等
イ　　ネ	出雲市芦渡町	コシヒカリ
ム　　ギ	〃	農林61号、アサカゴールド
ナ　　シ	〃	二 十 世 紀　（３８年生樹）
カ　　キ	〃	富　有　（３８年生樹）

２）地区予察圃場

種　　類	設　置　地　点　名
イ　　ネ	邑智郡川本町田窪
	浜田市治和町
ナ　　シ	安来市中津町
カ　　キ	出雲市東福町

４．予察灯・フェロモントラップ設置一覧

病害虫名	設　　置　　地　　点　　名	備　　考
ウ　ン　カ　類	出雲市芦渡町	予察灯
ウ　ン　カ　類	出雲市芦渡町	粘着誘殺灯
ウ　ン　カ　類	浜田市治和町	粘着誘殺灯
ニカメイチュウ	出雲市芦渡町	ﾌｪﾛﾓﾝﾄﾗｯﾌﾟ
モモシンクイガ	安来市中津町	ﾌｪﾛﾓﾝﾄﾗｯﾌﾟ
ナシヒメシンクイ	安来市中津町	ﾌｪﾛﾓﾝﾄﾗｯﾌﾟ
ヨ　ト　ウ　ガ　類	益田市飯田町	ﾌｪﾛﾓﾝﾄﾗｯﾌﾟ

Ⅴ　事業内容
１．平成２５年度における調査観察成績
Ⅰ）普通作物等
（Ⅰ）イネ
１．イネの生育状況
育苗期間の５月上旬までは低温傾向で苗の生育がやや遅れたものの、５月中旬から高温、多日照になったことにより、田植期は平年並みとなった。
田植え後は全般に高温、多日照で推移し、生育は非常に旺盛で茎数の増加が早かった。出穂期は生育が進み、茎数の増加が早めに終了したことや、梅雨入りが早かったものの、降水量が少なく多日照であったことにより、平年より早くなった。
茎数は多かったが、最高分げつ期以降は茎数が少なく推移したため、穂数は平年並みとなった。幼穂形成期から出穂期にかけて、高温傾向で降雨が少なく多日照であったため、１穂籾数は平年より多くなり、全籾数については１穂籾数が多かったため、平年よりやや多くなった。
８月下旬から日照時間が少なかったことや豪雨による倒伏被害があったことから、登熟はやや不良であった。
生育が全般に早まったことや夏季の高温、多日照により成熟期も早くなり、収穫作業の進度も平年より早くなった。
全籾数はやや多かったが、登熟がやや不良であったため、作柄は平年並みとなった。

２ 検査概況
産米の１等比率は、夏季の高温や日照が少なかったことにより、前年より低下し前々年と同程度となった。品種としては「コシヒカリ」より良かったものの「つや姫」が大きく低下し、「コシヒカリ」「きぬむすめ」も低下した。また、「ハナエチゼン」がカメムシ害などによりやや低下した。主な格下げ理由は、心白・腹白、未熟粒及び斑点米であり、登熟期の高温の影響が大きかったと推察される。
（2013年産水稲・麦類・大豆の作柄概況（農業技術センター技術普及部）より抜粋）

２．病害虫に関する調査結果
１）葉いもち
（１）発病状況調査
①定点における調査
○県予察ほ場（出雲市芦渡町）

区　別	調査月日	草丈	茎数	発病株率	発病度	病斑型
普通肥料区	6.14	31.3cm	13.0 本	0 %	0	
	24	58.1	18.0	0	0	
	7. 5	73.1	20.4	0	0	
	16	84.0	19.7	0	0	
	24	96.5	19.6	0	0	
	8. 5	104.0	19.6	0	0	
窒素増量区	6.14	30.1	14.7	0	0	
	24	56.3	16.2	0	0	
	7. 5	72.0	18.9	0	0	
	16	85.4	18.6	0	0	
	24	98.0	18.4	0	0	
	8. 5	107.0	18.4	0	0	

注）調査株数：50株、品種：コシヒカリ(5月8日植え)

○地区予察ほ場（川本町田窪）

区　別	調査月日	草丈	茎数	発病株率	発病度
普通肥料区	6.17	40.2 cm	14.7 本	0 %	0
	26	58.0	15.5	0	0
	7. 8	75.6	19.6	0	0
	17	87.4	20.7	0	0
	23	94.5	21.1	0	0
	8. 5	108.0	21.1	0	0

注）調査株数：50株、品種：コシヒカリ(5月6日植え)、Dr.ｵﾘｾﾞ箱粒剤処理

②巡回による調査（特定ほ場）

ア．出雲市

調査月日	発生ほ場率	発病株率	発病度
6.14	0 %	0 %	0 %
24	0	0	0
7. 5	0	0	0
16	0	0	0
24	0	0	0
8. 7	0	0	0

注）20ほ場、500株調査

イ．雲南市（大東町、加茂町）

調査月日	発生ほ場率	発病株率	発病度
6.14	0 %	0 %	0 %
24	0	0	0
7. 5	0	0	0
16	0	0	0
24	0	0	0
8. 7	0	0	0

注）20ほ場、500株調査

ウ．大田市、邑智郡、江津市

調査月日	発生ほ場率	発病株率	発病度
6.17	0 %	0 %	0 %
26	0	0	0
7. 8	0	0	0
17	0	0	0
23	0	0	0
8. 5	0	0	0

注）30ほ場、750株調査

③置き苗の発病状況調査

年次	調査時期	発生地点率*
２５	６月第１半旬	0 %
２４	６月第１半旬	0.5
２３	６月第１半旬	0
２２	６月第１半旬	0
２１	６月第１半旬	0
２０	５月第６半旬	0
１９	５月第６半旬	0
１８	６月第２半旬	1.6
１７	６月第１半旬	0
１６	６月第１半旬	3.0

注）＊：置き苗放置ほ場に対する割合

２）穂いもち

（１）発病状況調査

①定点における調査

○県予察ほ場（出雲市芦渡町）

区　　別	８月26日	
	発病株率	発病穂率
普通肥料区	0 %	0 %
窒素増量区	0	0

注）調査株数：50株

○地区予察ほ場（川本町田窪）

区　　別	８月21日	
	発病株率	発病穂率
普通肥料区	0 %	0 %

注）調査株数：50株

②巡回における調査

調 査 地 域	調査月日	調査ほ場数	発生ほ場率	調査穂数	発病穂率
出雲市	8.26	20	0 %	9334	0 %
雲南市（大東町、加茂町）	8.26	20	5.0	9080	0.02
大田市、邑智郡、江津市	8.21	30	0	13228	0
合　計・平　均		70	1.4	31642	0.01

３）紋枯病

（１）発病状況調査

①定点における調査

○県予察ほ場（出雲市芦渡町）

区　　別	調査月日	草丈	茎数	発病株率	発病度
普通肥料区	6.14	31.3cm	13.0 本	0 %	0 %
	24	58.1	18.0	0	0
	7. 5	73.1	20.4	0	0
	16	84.0	19.7	0	0
	24	96.5	19.6	0	0
	8. 5	104.0	19.6	0	0
	26	104.0	19.6	0	0
	9. 4	104.0	19.6	0	0
窒素増量区	6.14	30.1	14.7 本	0 %	0 %
	24	56.3	16.2	0	0
	7. 5	72.0	18.9	0	0
	16	85.4	18.6	0	0
	24	98.0	18.4	0	0
	8. 5	107.0	18.4	0	0
	26	108.0	18.4	0	0
	9. 4	108.0	18.4	0	0

注）調査株数：50株、品種：コシヒカリ(5月8日植え)

○地区予察ほ場（川本町田窪）

区　　別	調査月日	草丈	茎数	発病株率	発病度
普通肥料区	6.17	40.2 cm	14.7 本	0 %	0
	26	58.0	15.5	0	0
	7. 8	75.6	19.6	0	0
	17	87.4	20.7	2.0	0.5
	23	94.5	21.1	2.0	0.5
	8. 5	108.0	21.1	10.0	2.5
	21	109.0	21.1	18.0	9.5

注）調査株数：50株、品種：コシヒカリ(5月6日植え)、Dr.ｵﾘｾﾞ箱粒剤処理

②巡回による調査（特定ほ場）

ア．出雲市

調査月日	発生ほ場率	発病株率	発病度
6.14	0 %	0 %	0
24	0	0	0
7. 5	0	0	0
16	5.0	0.2	0.05
24	5.0	0.2	0.05
8. 7	5.0	0.4	0.10
26	5.0	0.8	0.40

注）20ほ場、500株調査

イ．雲南市（大東町、加茂町）

調査月日	発生ほ場率	発病株率	発病度
6.14	0 %	0 %	0
24	5.0	0.2	0.05
7. 5	10.0	1.2	0.30
16	15.0	2.6	0.65
24	25.0	3.8	1.00
8. 7	35.0	6.4	1.85
26	45.0	10.2	4.05

注）20ほ場、500株調査

ウ．大田市、邑智郡、江津市

調査月日	発生ほ場率	発病株率	発病度
6.17	0 %	0 %	0
26	0	0	0
7. 8	0	0	0
17	3.3	0.1	0.03
23	3.3	0.1	0.03
8. 5	3.3	0.1	0.03
21	10.0	0.8	0.40

注）30ほ場、750株調査

４）白葉枯病

（１）発病状況調査

①定点における調査

○県予察圃場（出雲市芦渡町）　　発生はまったく認められなかった。

○地区予察圃場（川本町田窪）　　発生はまったく認められなかった。

５）ヒメトビウンカ

（１）予察灯による成虫の誘殺状況

①半旬別誘殺表

地点名	出雲市芦渡町		地点名	出雲市芦渡町		地点名	出雲市芦渡町	
月.半旬	本 年	平 年	月.半旬	本 年	平 年	月.半旬	本 年	平 均
４．１	0	0.0	６．１	0	0.0	８．１	0	0.3
2	0	0.0	2	0	0.0	2	0	0.3
3	0	0.0	3	0	0.0	3	0	0.3
4	0	0.0	4	0	0.3	4	0	0.2
5	0	0.0	5	0	0.0	5	0	0.8
6	0	0.0	6	0	0.1	6	0	0.8
５．１	0	0.0	７．１	0	0.7	９．１	0	0.1
2	0	0.0	2	0	1.3	2	0	0.0
3	0	0.0	3	0	4.5	3	0	0.0
4	0	0.0	4	0	0.2	4	0	0.0
5	0	0.0	5	0	1.0	5	0	0.0
6	0	0.0	6	0	0.1	6	0	0.0
						総計	0	11.0

（２）定点と巡回による調査

①６月21－25日調査

地帯区分	調　査	採集虫数（５０株当り）		採集虫数の頻度分布（%）（株当り虫数）				
	圃場数	平均	最高	0	1～ 2	3～5	6～10	11～
東部　平坦地	20	1.8	13	50.0	50.0	0	0	0
東部　山間,中山間地	0	－	－	－	－	－	－	－
西部　平坦地	16	0.9	9	68.8	31.2	0	0	0
西部　山間,中山間地	0	－	－	－	－	－	－	－
合計，平均	36	1.4		58.3	41.7	0	0	0

注）調査方法：５０株払い落し（粘着板使用）

②７月23－8月１日調査

地帯区分	調　査	採集虫数（２５株当り）		採集虫数の頻度分布（%）（株当り虫数）				
	圃場数	平均	最高	0	1～ 2	3～5	6～10	11～
東部　平坦地	24	0.9	4	58.3	41.7	0	0	0
東部　山間,中山間地	2	0	－	100.0	0	0	0	0
西部　平坦地	16	2.7	8	37.5	62.5	0	0	0
西部　山間,中山間地	6	0.3	1	66.7	33.3	0	0	0
合計，平均	48	1.4		54.2	45.8	0	0	0

注）調査方法：２５株払い落し（粘着板使用）

③８月21-９月１日調査

地帯区分	調　査	採集虫数（２５株当り）		採集虫数の頻度分布（%）（２５株当り虫数）				
	圃場数	平均	最高	0	1～ 2	3～5	6～10	11～
東部　平坦地	20	2.4	21	40.0	60.0	0	0	0
東部　山間,中山間地	6	2.4	3	16.7	83.3	0	0	0
西部　平坦地	9	2.3	10	22.2	77.8	0	0	0
西部　山間,中山間地	6	1.7	4	33.3	66.7	0	0	0
合計，平均	41	2.1		31.7	68.3	0	0	0

注）調査方法：２５株払い落し（粘着板使用）

6）ツマグロヨコバイ

（１）予察灯による成虫の誘殺状況

①半旬別誘殺表

地点名	出雲市芦渡町		地点名	出雲市芦渡町		地点名	出雲市芦渡町	
月.半旬	本 年	平 年	月.半旬	本 年	平 年	月.半旬	本　年	平　均
４．１	0	0.0	６．１	0	0.1	８．１	5	32.5
2	0	0.0	2	0	0.2	2	3	25.6
3	0	0.0	3	0	0.0	3	61	25.0
4	1	0.0	4	0	0.6	4	1	17.7
5	0	0.1	5	13	1.1	5	1	27.8
6	0	0.3	6	9	2.8	6	27	37.6
５．１	0	1.6	７．１	3	6.9	９．１	17	28.4
2	0	0.4	2	12	11.4	2	9	60.5
3	0	0.0	3	29	14.5	3	4	29.1
4	0	0.0	4	19	26.9	4	5	22.9
5	0	0.0	5	130	321.4	5	3	10.0
6	0	0.0	6	125	55.4	6	3	4.1
						総計	480	764.9

（２）定点と巡回による調査

①７月23－8月１日調査

地帯区分	調　査	採集虫数（２５株当り）		採集虫数の頻度分布（%）（株当り虫数）				
	圃場数	平均	最高	0	1～25	26～100	101～250	251～
東部　平坦地	24	4.6	24	54.2	45.8	0	0	0
東部　山間,中山間地	2	2.5	10	50.0	50.0	0	0	0
西部　平坦地	16	9.3	106	56.2	43.8	0	0	0
西部　山間,中山間地	6	0.5	2	66.7	33.3	0	0	0
合計，平均	48	5.9		56.2	45.8	0	0	0

注）調査方法：２５株払い落し（粘着板使用）

②８月21-９月１日調査

地帯区分	調　査 圃場数	採集虫数（２５株当り） 平均	最高	採集虫数の頻度分布（%）（２５株当り虫数） 0	1～25	26～100	101～250	251～
東部　平坦地	20	23.3	360	40.0	60.0	0	0	0
東部　山間,中山間地	6	131.5	496	16.7	66.7	16.7	0	0
西部　平坦地	9	58.3	336	33.3	66.7	0	0	0
西部　山間,中山間地	6	2.2	7	0	66.7	33.3	0	0
合計，平均	41	43.7		39.0	58.5	2.4	0	0

注）調査方法：２５株払い落し（粘着板使用）

7）ニカメイチュウ

（１）予察灯による成虫の誘殺状況

①半旬別誘殺表

地点名	出雲市芦渡町		地点名	出雲市芦渡町		地点名	出雲市芦渡町	
月.半旬	本 年	平 年	月.半旬	本 年	平 年	月.半旬	本 年	平　均
４．１	0	0	６．１	45	0.1	８．１	0	2.5
2	0	0	2	8	1.1	2	0	1.3
3	0	0	3	2	2.2	3	0	3.0
4	0	0	4	6	3.5	4	0	2.1
5	0	0	5	0	1.7	5	0	0.5
6	0	0	6	0	1.8	6	0	1.0
５．１	0	0.3	７．１	0	2.0	９．１	0	0.1
2	0	0.4	2	0	1.4	2	0	0.0
3	0	1.0	3	0	0.8	3	0	0.1
4	1	0.5	4	0	0.5	4	0	0.0
5	21	0.5	5	0	0.3	5	0	0.0
6	35	4.7	6	0	0.8	6	0	0.0
						総計	118	34.2

（２）定点と巡回による調査

①７月23-８月１日調査

地帯区分	調　査 圃場数	被害株率%（２５株調査） 平均	最高	被害株率の頻度分布（%） 0	1～30	31～60	61～90	91～
東部　平坦地	24	0.5	4	87.5	12.5	0	0	0
東部　山間,中山間地	2	0	0	100.0	0	0	0	0
西部　平坦地	16	0	0	100.0	0	0	0	0
西部　山間,中山間地	6	0	0	100.0	0	0	0	0
合計，平均	48	0.1		93.8	6.3	0	0	0

②８月21-９月１日調査

地帯区分	調　査	被害株率%（２５株調査）		被害株率の頻度分布（%）				
	圃場数	平均	最高	0	1～30	31～60	61～90	91～
東部　平坦地	20	0	－	100	0	0	0	0
東部　山間,中山間地	6	0	－	100	0	0	0	0
西部　平坦地	9	0	－	100	0	0	0	0
西部　山間,中山間地	6	0	－	100	0	0	0	0
合計，平均	41	0		100.0	0	0	0	

８）セジロウンカ

（１）予察灯・粘着誘殺灯による成虫の誘殺状況

①半旬別誘殺表

地　点	出雲市芦渡町				浜田市周布町	
	６０W白熱		２０W粘着		２０W粘着	
月．半旬	本年	平年	本年	平年	本年	平年
６．１	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.2
3	0	0.0	0	0.0	0	2.7
4	0	0.1	0	0.8	0	3.4
5	0	21.1	0	2.4	0	102.1
6	0	40.3	0	5.3	0	76.0
７．１	0	45.6	1	76.5	1	297.4
2	0	157.6	1	211.2	1	6953.4
3	0	385.4	0	1464.6	0	6119.2
4	0	30.3	6	63.7	6	435.1
5	0	30.6	6	26.9	6	176.2
6	9	29.8	134	24.5	134	331.9
８．１	0	5.6	42	35.5	42	211.6
2	3	7.5	58	27.4	58	184.5
3	11	26.8	6	49.9	6	518.3
4	5	8.1	3	12.0	3	290.9
5	6	16.4	86	27.0	86	84.7
6	36	102.2	247	726.6	247	282.8
９．１	2	10.1	40	16.3	40	108.3
2	4	4.6	4	22.6	4	222.7
3	3	2.3	0	4.0	0	53.0
4	4	2.7	0	3.1	－	－
5	0	0.9	0	1.4	－	－
6	0	0.0	0	0.5	－	－
総計	83	909.0	634	2802.5	4258	16454.5

注）予察灯は４～９月、粘着誘殺灯は６～９月の間設置した。

浜田市周布町（20W粘着）の平年値は2008年が欠測のため2003～2007,2009～2012年の9年間で求めた。

（２）定点と巡回による調査

①７月23-８月１日調査

地帯区分	調　査	採集虫数（２５株当り）		採集虫数の頻度分布（%）（株当り虫数）				
	圃場数	平均	最高	0	1～10	11～50	51～100	101～
東部　平坦地	24	3.9	15	29.2	70.8	0	0	0
東部　山間,中山間地	2	0.3	1	50.0	50.0	0	0	0
西部　平坦地	16	32.3	138	0	100.0	0	0	0
西部　山間,中山間地	6	33.3	4	66.7	33.3	0	0	0

合計，平均	48	12.7		25.0	75.0	0	0	0

注）調査方法：２５株払い落し（粘着板使用）

②８月21-９月１日調査

地帯区分	調　査	採集虫数（２５株当り）		採集虫数の頻度分布（%）（株当り虫数）				
	圃場数	平均	最高	0	1～10	11～50	51～100	101～
東部　平坦地	20	3.1	13	25.0	75.0	0	0	0
東部　山間,中山間地	6	4.9	24	33.3	66.7	0	0	0
西部　平坦地	9	3.8	14	11.1	88.9	0	0	0
西部　山間,中山間地	6	4.0	11	33.3	66.7	0	0	0
合計，平均	41	3.6		24.4	75.6	0	0	0

注）調査方法：２５株払い落し（粘着板使用）

9）トビイロウンカ

（１）予察灯・粘着誘殺灯による成虫の誘殺状況

①半旬別誘殺表

地　点	出雲市芦渡町				浜田市周布町	
	６０W白熱		２０W粘着		２０W粘着	
月．半旬	本年	平年	本年	平年	本年	平年
６．１	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.1	0	0.0
７．１	0	0.2	0	0.2	0	0.7
2	0	0.4	1	2.9	10	1.9
3	0	1.0	0	8.6	0	2.7
4	0	1.0	0	4.3	0	0.1
5	0	0.1	0	0.0	0	0.1
6	0	0.0	1	0.1	0	0.2
８．１	1	0.3	10	0.1	0	0.1
2	1	0.5	2	0.1	0	0.1
3	1	1.7	1	0.0	0	1.8
4	1	0.2	1	0.7	0	1.6
5	1	0.4	21	0.4	0	2.0
6	2	11.5	13	73.4	1	72.2
９．１	1	0.5	13	3.4	15	2.1
2	4	0.4	16	6.7	7	50.6
3	0	0.0	0	1.7	0	25.9
4	1	0.2	0	0.8	－	－
5	0	0.0	0	1.6	－	－
6	0	0.0	0	0.0	－	－
総計	13	18.4	84	105.1	33	162.0

注）予察灯は４～９月、粘着誘殺灯は６～９月の間設置した。

浜田市周布町（20W粘着）の平年値は2008年が欠測のため2003～2007,2009～2012年の9年間で求めた。

（２）定点と巡回による調査
①７月23-８月１日調査

地帯区分	調　査 圃場数	採集虫数（２５株当り） 平均	最高	採集虫数の頻度分布（%）（株当り虫数） 0	1～10	11～50	51～100	101～
東部　平坦地	24	0	－	100.0	0	0	0	0
東部　山間,中山間地	2	0	－	100.0	0	0	0	0
西部　平坦地	16	0.13	1	87.5	12.5	0	0	0
西部　山間,中山間地	6	0	－	100.0	0	0	0	0
合計，平均	48	0.04		95.8	4.2	0	0	0

注）調査方法：２５株払い落し（粘着板使用）

②８月21-９月１日調査

地帯区分	調　査 圃場数	採集虫数（２５株当り） 平均	最高	採集虫数の頻度分布（%）（株当り虫数） 0	1～10	11～50	51～100	101～
東部　平坦地	20	3.8	33	30.0	70.0	0	0	0
東部　山間,中山間地	6	3.7	17	16.7	83.3	0	0	0
西部　平坦地	9	11.1	29	11.1	88.9	0	0	0
西部　山間,中山間地	6	0.2	2	66.7	33.3	0	0	0
合計，平均	41	4.9		29.3	70.7	0	0	0

注）調査方法：２５株払い落し（粘着板使用）

１０）コブノメイガ

（１）予察灯・粘着誘殺灯による成虫の誘殺状況
①半旬別誘殺表

地　点	出雲市芦渡町				浜田市周布町	
	６０W白熱		２０W粘着		２０W粘着	
月．半旬	本　年	平　年	本　年	平　年	本　年	平　年
６．１	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.1
5	0	0.0	0	0.1	0	0.3
6	0	0.0	0	0.0	0	1.3
７．１	0	0.0	0	1.0	0	5.8
2	0	0.1	0	0.2	0	7.7
3	0	0.3	1	0.5	1	5.4
4	0	0.1	0	0.5	0	3.2
5	0	0.0	0	0.1	0	6.4
6	0	0.0	2	0.1	2	2.0
８．１	0	0.0	0	2.3	0	1.1
2	0	0.0	0	1.4	0	4.1
3	0	0.1	0	0.8	0	2.0
4	0	0.1	0	0.6	0	2.8
5	0	0.8	2	1.0	2	2.1
6	0	0.2	0	0.5		2.1
９．１	0	0.6	11	2.9	11	1.6
2	0	0.8	20	6.7	20	1.9

3	0	1.2	0	18.9	0	2.0
4	0	1.3	0	18.8	―	―
5	0	0.8	0	3.5	―	―
6	0	0.3	0	2.4	―	―
総　計	0	6.7	36	62.3	36	52.0

注）予察灯は４～９月、粘着誘殺灯は６～９月の間設置した。
浜田市周布町（20W粘着）の平年値は2008年が欠測のため2003～2007,2009～2012年の9年間で求めた。

（２）定点と巡回による調査
①７月23-８月１日調査

地帯区分	調　査	被害下部率％（２５株調査）		被害株率の頻度分布（％）				
	圃場数	平均	最高	0	1～5	6～15	16～45	46～
東部　平坦地	24	0.8	8.0	83.3	12.5	4.2	0	0
東部　山間,中山間地	2	0	－	100.0	0	0	0	0
西部　平坦地	16	18.3	76.0	33.3	0	12.5	8.3	12.5
西部　山間,中山間地	6	0	－	100.0	0	0	0	0
合計，平均	48	1.0		75.0	6.3	8.3	4.2	6.3

②８月21-９月１日調査

地帯区分	調　査	被害下部率％（２５株調査）		被害株率の頻度分布（％）				
	圃場数	平均	最高	0	1～5	6～15	16～45	46～
東部　平坦地	20	0	－	100.0	0	0	0	0
東部　山間,中山間地	6	0	－	100.0	0	0	0	0
西部　平坦地	9	0	－	100.0	0	0	0	0
西部　山間,中山間地	6	0	－	100.0	0	0	0	0
合計，平均	48	0		100.0	0	0	0	0

１１）イネミズゾウムシ

（１）予察灯による成虫の誘殺状況
①半旬別誘殺表

地点名	出雲市芦渡町		地点名	出雲市芦渡町		地点名	出雲市芦渡町	
月.半旬	本 年	平 年	月.半旬	本 年	平 年	月.半旬	本　年	平　均
４．１	0	0.0	６．１	2	0.6	８．１	13	7.7
2	0	0.0	2	0	1.3	2	3	7.8
3	0	0.0	3	0	0.1	3	0	3.6
4	0	0.3	4	1	2.5	4	2	2.2
5	0	0.1	5	0	12.6	5	0	1.1
6	0	9.8	6	0	30.3	6	1	1.7
５．１	0	9.4	７．１	1	18.7	９．１	1	0.8
2	2	71.8	2	27	26.2	2	0	0.0
3	0	7.3	3	11	8.6	3	0	0.1
4	1	12.4	4	13	10.5	4	0	0.0
5	0	6.3	5	24	12.1	5	0	0.0
6	10	6.1	6	14	18.4	6	0	0.0
						総 計	126	290.4

（２）巡回による調査
①５月30-6月７日調査

地帯区分	調　査 圃場数	被害度（25株調査） 平均	最高	被害株率の頻度分布（%） >91	90～61	60～31	30>	0
東部　平坦地	24	9.3	36	0.0	0.0	16.7	66.7	16.7
東部　山間,中山間地	6	1.5	6	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
西部　平坦地	16	2.3	8	0.0	0.0	0.0	62.5	37.5
西部　山間,中山間地	6	0.3	1	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7
合計，平均	52	5.2		0.0	0.0	7.7	59.6	32.7

１２）カメムシ類
（１）予察灯によるアカスジカスミカメ成虫の誘殺状況
①半旬別誘殺表

地点名	出雲市芦渡町		地点名	出雲市芦渡町		地点名	出雲市芦渡町	
月.半旬	本 年	平 年	月.半旬	本 年	平 年	月.半旬	本　年	平　均
４．１	0	0.0	６．１	0	0.5	８．１	2	10.3
2	0	0.0	2	1	0.6	2	4	6.9
3	0	0.0	3	10	0.1	3	5	4.9
4	0	0.0	4	3	1.6	4	6	4.3
5	0	0.0	5	10	3.1	5	1	4.6
6	0	0.0	6	12	12.1	6	1	6.8
５．１	0	0.0	７．１	13	17.8	９．１	2	1.7
2	0	0.0	2	57	26.3	2	1	1.4
3	0	0.0	3	37	29.9	3	0	1.1
4	0	0.0	4	40	24.9	4	0	0.2
5	1	0.6	5	19	17.8	5	0	0.0
6	2	1.1	6	18	13.3	6	0	0.0
						総 計	245	191.9

（２）巡回による調査
①６月24～26日調査（畦畔・雑草地など）

地点名	調査点数	すくい取り虫数（１０回振り・成幼虫） ﾎｿﾊﾘｶﾒﾑｼ	ｼﾗﾎｼｶﾒﾑｼ	ﾄｹﾞｼﾗﾎｼｶﾒﾑｼ	ｸﾓﾍﾘｶﾒﾑｼ	ｱｶｽｼﾞｶｽﾐｶﾒ	合　計
平　均	38	0.21	0	0.11	0.05	2.26	3.0
採取圃場率		21.1	0	5.3	2.6	50.0	50.0

②調査時期：７月12日（極早生品種出穂圃場）

地点名	調査点数	すくい取り虫数（２０回振り・成幼虫） ﾎｿﾊﾘｶﾒﾑｼ	ｼﾗﾎｼｶﾒﾑｼ	ﾄｹﾞｼﾗﾎｼｶﾒﾑｼ	ｸﾓﾍﾘｶﾒﾑｼ	ｱｶｽｼﾞｶｽﾐｶﾒ	合　計
平　均	38	1.26	0.05	0.26	0.05	6.26	7.89
採取圃場率		39.5	2.6	13.2	2.6	76.3	86.8

（Ⅱ）ムギ

１．ムギの生育状況

１）生育概況

二条大麦の播種が平年並みの10月下旬から行われ発芽は良好であったが、11月上中旬は降水量が多かったため、その後の播種作業はやや遅れた。11月下旬以降は降雨日が多かったものの降水量はやや少なかったため、播種作業は12月上旬に終了したが、低温傾向であったため生育はやや遅れ気味で、湿害による発芽不良もみられた。１月中旬から気温や日照時間が平年並み、降水量はやや少なかったが、生育は遅れている状況であった。２月は上旬と下旬から気温が高く推移したため、播種時期の早いものは生育が回復した。茎立ちもやや遅れていたが、３月は高温、多日照で降水量も少なかったため、生育は回復した。出穂は二条大麦で3月第6半旬から4月第3半旬頃、小麦で4月第5半旬頃となった。両麦種の出穂期以降は、日照時間が平年並みで気温が低く推移したため、成熟期はやや遅れた。生育の良いほ場では網斑病が多発したが、赤かび病などのその他の病害は適期防除などにより少なかった。また、二条大麦でなびき倒伏が散見された。梅雨入りは５月27日と早かったものの降雨が少なく、収穫作業は二条大麦で５月第５半旬から６月第３半旬まで、小麦で６月第３半旬から６月末まで行われたが、６月第４半旬の降雨により収穫をしなかったほ場があった。

２）作柄および検査概況

生育初期から遅い播種のものの生育が停滞し、穂数が少なかったので、平年に比べると小麦はやや不良、二条大麦は平年並みとなり、収量の平年対比は小麦が82％、二条大麦は102％であった。品質は収穫時期が遅かったものが降雨にあったため、前年よりやや悪い結果となった。

（2013年産水稲・麦類・大豆の作柄概況（農業技術センター技術普及部）より抜粋）

２）生育状況調査

○県予察圃場（出雲市芦渡町）

品　種　名	H25年３月26日		４月５日	４月15日
	草　　丈	茎数（100cm）	草　　丈	草　　丈
アサカゴールド	58.5 cm	196.3　本	76.1 cm	80.3 cm
サチホゴールデン	65.2	220.0	75.7	75.6
農林61号	42.4	202.7	57.3	72.3

注）播種日と出穂期
　　アサカゴールド：H24年11月7日、H25年４月５日
　　サチホゴールデン：H24年11月7日、H25年３月30日
　　農林61号：H24年10月30日、H25年４月６日

２．病害虫に関する調査結果

１）さび病類、うどんこ病、斑葉病、雲形病、赤かび病

（１）発病状況調査

①定点における調査

○県予察圃場（出雲市芦渡町）

品　種　名	さび病類			うどんこ病		
	４月５日	４月30日	５月22日	４月５日	４月30日	５月22日
アサカゴールド	0　％	0　％	0　％	0　％	0　％	0　％
サチホゴールデン	0	0	0	0	0	0
農林61号	0	0	0	0	0	0

注）表中の数字は発病茎率
　　雲形病、斑葉病、赤かび病の発生はみられなかった。

②巡回による調査

ア．オオムギ(二条)

調査月日	調査場所	調査圃場数	小さび病		うどんこ病		赤かび病		斑葉病	
			発生圃場率	発病茎率	発生圃場率	発病茎率	発生圃場率	発病茎率	発生圃場率	発病茎率

25.3.19	出雲市	30	0 %	0 %	0 %	0 %	－ %	－ %	0 %	0 %
4.30	出雲市	40	0	0	0	0	0	0	0	0
5.22	出雲市	40	0	0	0	0	2.5	0.02	0	0

注）黄さび病、雲形病の発生は認められなかった。

イ．オオムギ(六条)

調査月日	調査場所	調査圃場数	小さび病		うどんこ病		赤かび病		雲形病	
			発生圃場率	発病茎率	発生圃場率	発病茎率	発生圃場率	発病茎率	発生圃場率	発病茎率
25.3.19	出雲市	5	0 %	0 %	0 %	0 %	－ %	－ %	0 %	0 %
4.30	出雲市	5	0	0	0	0	0	0	20.0	0.2
5.22	出雲市	5	0	0	0	0	0	0	20.0	0.2

注）黄さび病、斑葉病の発生は認められなかった。

ウ．コムギ

調査月日	調査場所	調査圃場数	小さび病		うどんこ病		赤かび病	
			発生圃場率	発病茎率	発生圃場率	発病茎率	発生圃場率	発病茎率
25.3.26	出雲市	20	0 %	0 %	0 %	0 %	－ %	－ %
4.25	出雲市	20	0	0	0	0	0	0
4.25	松江市	10	0	0	0	0	0	0
5.21	松江市	10	0	0	0	0	0	0
5.22	出雲市	20	0	0	0	0	0	0

0

注）黄さび病の発生は認められなかった。

（Ⅲ）ダイズ

１．病害虫に関する調査結果

１）ハスモンヨトウ

（１）フェロモントラップによる雄成虫の誘殺状況

キャベツのハスモンヨトウの項に掲載。

（２）被害状況調査

①巡回による調査（斐川地区）

調査月日	調査圃場数	発生圃場率(%)	1a当り白変か所数
2013. 8.29	13	7.7	0.08
9.25	14	35.7	0.36

Ⅱ）果樹
（Ⅰ）ナシ
１．病害虫に関する調査結果
１）黒斑病、黒星病
（１）発病状況調査（１圃場10新梢の全葉について調査。４月下旬、５月上旬は幼果について１圃場100果実調査）
①定点における調査
地区予察圃場（安来市中津町、二十世紀、慣行散布）調査結果は圃場NO.7に記載。
②巡回による調査（安来市、二十世紀、慣行散布）

ア．2013年４月25日調査

圃場 NO.	調査 葉数	落葉率(%)	調査 生葉数	黒斑病 発病葉率(%)	黒斑病 発病度	黒星病 発病葉率(%)	黒星病 発病度
5	58	0	58	0	0	0	0
7	73	0	73	0	0	0	0
8	66	0	66	0	0	0	0
9	62	0	62	0	0	0	0
１０	68	0	68	0	0	0	0
１４	63	0	63	0	0	0	0
１５	71	0	71	0	0	0	0
１６	61	0	61	0	0	0	0
１７	59	0	59	0	0	0	0
平均	64.6	0	64.6	0	0	0	0

圃場 NO.	調査 幼果数	黒星病 発病幼果率(%)
5	100	0
7	100	0
8	100	0
9	100	0
１０	100	1.0
１４	100	0
１５	100	0
１６	100	0
１７	100	0
平均	100	0.1

イ．５月13日調査

圃場 NO.	調査 葉数	落葉率(%)	調査 生葉数	黒斑病 発病葉率(%)	黒斑病 発病度	黒星病 発病葉率(%)	黒星病 発病度
5	75	0	75	1.3	0.3	0	0
7	99	0	99	0	0	0	0
8	101	0	101	1.0	0.3	0	0
9	95	0	95	6.3	2.1	0	0
１０	94	0	94	0	0	0	0
１４	89	0	89	0	0	0	0
１５	94	0	94	0	0	0	0
１６	100	0	100	0	0	0	0
１７	84	0	84	0	0	0	0
平均	92.3	0	92.3	1.0	0.3	0	0

圃場 NO.	調査 幼果数	黒　星　病 発病幼果率(%)
5	100	0
7	100	0
8	100	0
9	100	1.0
１０	100	4.0
１４	100	0
１５	100	0
１６	100	0
１７	100	0
平均	100.0	0.6

ウ．５月24日調査

圃場 NO.	調査 葉数	落葉率(%)	調　査 生葉数	黒　斑　病 発病葉率(%)	黒　斑　病 発病度	黒　星　病 発病葉率(%)	黒　星　病 発病度
5	102	0	102	2.0	0.5	0	0
7	100	0	100	0	0	0	0
8	121	0	121	0.8	0.2	0	0
9	110	0	110	6.4	2.3	0	0
１０	103	0	103	0	0	0	0
１４	119	0	119	0.8	0.2	0	0
１５	127	0	127	0	0	0	0
１６	110	0	110	0.9	0.2	0	0
１７	124	0	124	0	0	0	0
平均	112.9	0	112.9	1.2	0.4	0	0

エ．６月21日調査

圃場 NO.	調査 葉数	落葉率(%)	調　査 生葉数	黒　斑　病 発病葉率(%)	黒　斑　病 発病度	黒　星　病 発病葉率(%)	黒　星　病 発病度
5	162	0	162	0	0	0	0
7	187	0	187	7.0	2.1	0	0
8	170	0	170	31.8	11.8	1.8	0.4
9	164	0	164	36.0	11.1	1.2	0.3
１０	153	0	153	13.1	3.3	0.7	0.2
１４	170	0	170	4.1	1.5	0	0
１５	203	0	203	0	0	0	0
１６	169	0	169	1.5	0.4	0	0
１７	247	0	247	1.2	0.3	0	0
平均	180.6	0	180.6	13.2	4.8	0.2	0.1

オ．７月31日調査

圃場 NO.	調査葉数	落葉率(%)	調査生葉数	黒斑病 発病葉率(%)	黒斑病 発病度	黒星病 発病葉率(%)	黒星病 発病度
5	197	0	197	1.0	0.3	0	0
7	238	2.1	233	24.9	8.3	0	0
8	164	0	164	51.8	31.9	0	0
9	195	1.5	192	35.9	15.6	0	0
１０	201	0	201	36.3	16.0	3.0	0.8
１４	217	0	217	3.7	1.3	0	0
１５	202	0	202	0.5	0.1	0	0
１６	182	2.2	178	20.2	9.7	0	0
１７	206	0	206	2.9	1.1	0	0
平均	200.2	0.6	198.9	19.7	9.4	0.3	0.1

カ．８月26日調査

圃場 NO.	調査葉数	落葉率(%)	調査生葉数	黒斑病 発病葉率(%)	黒斑病 発病度	黒星病 発病葉率(%)	黒星病 発病度
5	171	0	171	5.3	1.3	0	0
7	225	4.4	215	28.4	12.6	0.9	0.2
8	160	9.4	145	71.0	42.9	1.4	0.3
9	190	6.3	178	59.0	32.9	3.4	0.8
１０	188	6.4	176	39.8	17.5	1.1	0.3
１４	205	0	205	3.4	1.1	0	0
１５	220	0	220	5.0	1.4	0	0
１６	200	10.5	179	18.4	9.5	0	0
１７	216	0	216	2.8	0.7	0	0
平均	197.2	4.1	189.4	25.9	13.3	0.8	0.2

2）ナシヒメシンクイ
（１）予察灯による成虫の誘殺状況
①半旬別誘殺表

月・半旬	県予察圃場（出雲市芦渡町）				地区予察圃場(安来市中津町)	
	水銀灯（１００W）		フェロモントラップ		フェロモントラップ	
	本 年	平 年	本 年	平 年	本 年	平 年
４．１	0	0.0	0	0.7	0	4.2
2	0	0.0	0	0.8	0	5.9
3	0	0.0	1	3.5	0	53.7
4	0	0.0	5	6.2	0	44.2
5	0	0.0	12	0.9	132	30.1
6	0	0.0	0	4.9	47	22.5
５．１	0	0.0	0	5.7	8	50.3
2	0	0.0	4	2.7	0	37.2
3	0	0.0	0	1.8	0	24.3
4	0	0.0	0	2.5	20	9.2
5	0	0.0	1	0.4	30	12.1
6	0	0.0	0	0.8	0	5.7
６．１	0	0.0	0	3.1	28	13.2
2	0	0.0	1	7.5	0	19.1
3	0	0.0	2	4.5	67	14.5
4	0	0.0	0	4.9	0	23.9
5	0	0.0	0	4.5	0	63.9
6	0	0.0	2	1.1	154	13.8
７．１	0	0.1	1	1.4	0	6.2
2	0	0.0	0	6.6	32	44.3
3	0	0.0	2	8.6	33	24.2
4	0	0.0	0	13.0	50	49.3
5	0	0.0	2	7.2	41	28.4
6	0	0.0	0	4.3	41	36.1
８．１	0	0.0	0	10.2	32	13.0
2	0	0.0	0	12.4	31	30.3
3	0	0.0	7	7.5	41	19.9
4	0	0.0	0	8.6	21	16.1
5	0	0.0	0	5.7	0	36.1
6	0	0.1	0	6.4	0	13.6
９．１	0	0.0	2	8.2	0	24.9
2	0	0.0	4	5.7	0	21.4
3	0	0.0	3	2.1	0	11.4
4	0	0.0	0	1.4	0	8.0
5	0	0.0	0	0.4	0	8.6
6	0	0.0	0	0.0	0	0.3
１０．１	0	0.0	0	0.1	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合 計	0	0.2	49	166.3	808	839.9

3）ナシオオシンクイガ

（1）予察灯による成虫の誘殺状況

月・半旬	県予察圃場（出雲市芦渡町） 本　年	平　年	月・半旬	県予察圃場（出雲市芦渡町） 本　年	平　年
4. 1	0	0.0	8. 1	0	0.0
2	0	0.0	2	0	0.0
3	0	0.0	3	0	0.0
4	0	0.0	4	0	0.0
5	0	0.0	5	0	0.0
6	0	0.0	6	0	0.0
5. 1	0	0.0	9. 1	0	0.0
2	0	0.0	2	0	0.0
3	0	0.0	3	0	0.0
4	0	0.0	4	0	0.0
5	0	0.0	5	0	0.0
6	0	0.0	6	0	0.0
6. 1	0	0.0	10. 1	0	0.0
2	0	0.0	2	0	0.0
3	0	0.0	3	0	0.0
4	0	0.0	4	0	0.0
5	0	0.0	5	0	0.0
6	0	0.0	6	0	0.0
7. 1	0	0.0	合計	0	0.0
2	0	0.0			
3	0	0.0			
4	0	0.0			
5	0	0.0			
6	0	0.0			

4）モモシンクイガ

（1）フェロモントラップによる雄成虫の誘殺状況

①半旬別誘殺表（モモシンクイガ）

月・半旬	県予察圃場（出雲市芦渡町） 本年	平年	地区予察圃場（安来市中津町） 本年	平年	月・半旬	県予察圃場（出雲市芦渡町） 本年	平年	地区予察圃場（安来市中津町） 本年	平年
5．1	0	0.0	0	0.0	8．1	0	0.0	10	8.1
2	0	0.0	0	0.0	2	0	0.0	17	18.8
3	0	0.0	0	0.0	3	0	0.0	29	23.0
4	0	0.0	0	0.0	4	0	0.0	0	14.3
5	0	0.0	0	0.0	5	0	0.0	0	20.3
6	0	0.0	0	1.2	6	0	0.0	0	9.4
6．1	0	0.0	14	3.4	9．1	0	0.0	0	2.9
2	0	0.0	42	26.5	2	0	0.0	0	3.4
3	0	0.0	50	19.1	3	0	0.0	0	1.6
4	0	0.0	40	35.4	4	0	0.0	0	0.9
5	0	0.0	21	51.3	5	0	0.0	0	1.7
6	0	0.0	14	18.4	6	0	0.0	0	0.0
7．1	0	0.0	0	7.0	１０．1	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	26.8	2	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	15	19.8	3	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	20	35.9	4	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	13.6	5	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	17	14.2	6	0	0.0	0	0.0
				合　計		0	0.0	289	376.9

5）チャノコカクモンハマキ

（１）成虫の誘殺状況

①半旬別誘殺表

月 半旬	県予察圃場（出雲市芦渡町）				月 半旬	県予察圃場（出雲市芦渡町）			
	水銀灯(100W)		ﾌｪﾛﾓﾝﾄﾗｯﾌﾟ			水銀灯(100W)		ﾌｪﾛﾓﾝﾄﾗｯﾌﾟ	
	本年	平年	本年	平年		本年	平年	本年	平年
4. 1	0	0.0	0	0.3	8. 1	0	0.0	0	18.2
2	0	0.0	0	1.6	2	0	0.1	0	13.3
3	0	0.0	0	4.1	3	1	0.1	0	7.2
4	0	0.0	1	4.9	4	0	0.3	0	3.9
5	0	0.7	0	5.6	5	0	0.3	1	3.8
6	0	0.3	0	9.4	6	0	0.6	0	3.3
5. 1	2	0.4	2	16.0	9. 1	0	0.0	2	5.8
2	0	0.6	2	18.0	2	0	1.1	0	15.2
3	0	0.8	1	11.7	3	1	0.5	0	24.1
4	0	0.6	0	8.4	4	0	0.6	0	13.8
5	1	0.7	3	5.7	5	0	0.1	0	5.6
6	0	0.2	0	2.6	6	0	0.0	0	3.1
6. 1	0	0.1	1	1.2	10. 1	0	0.2	0	5.6
2	0	0.5	2	1.5	2	0	0.0	0	8.7
3	1	0.4	0	1.6	3	0	0.0	0	14.3
4	1	0.5	5	9.0	4	0	0.1	0	6.6
5	3	0.5	0	9.0	5	0	0.1	0	2.2
6	0	0.5	0	8.4	6	0	0.0	0	3.3
7. 1	0	0.5	3	13.9	合　計	11	15.7	27	312.1
2	1	0.7	2	5.1					
3	0	0.6	2	5.5					
4	0	0.4	0	3.5					
5	1	2.1	0	3.6					
6	0	0.5	0	3.5					

6）チャハマキ

（1）成虫の誘殺状況

①半旬別誘殺表

月・半旬	県予察圃場（出雲市芦渡町） 水銀灯(100W) 本年	水銀灯(100W) 平年	ﾌｪﾛﾓﾝﾄﾗｯﾌﾟ 本年	ﾌｪﾛﾓﾝﾄﾗｯﾌﾟ 平年	月・半旬	県予察圃場（出雲市芦渡町） 水銀灯(100W) 本年	水銀灯(100W) 平年	ﾌｪﾛﾓﾝﾄﾗｯﾌﾟ 本年	ﾌｪﾛﾓﾝﾄﾗｯﾌﾟ 平年
4. 1	0	0.0	0	0.0	8. 1	0	0.3	0	7.6
2	0	0.0	0	0.5	2	0	0.5	0	4.7
3	0	0.1	1	1.1	3	1	0.3	0	2.8
4	0	0.1	3	2.6	4	0	0.6	0	1.5
5	0	0.2	0	2.5	5	2	0.5	0	1.4
6	0	0.1	0	1.2	6	0	0.0	0	2.8
5. 1	0	0.2	0	3.7	9. 1	0	0.2	0	4.2
2	0	0.3	0	3.2	2	0	0.4	1	7.7
3	1	0.2	4	3.0	3	0	0.3	0	4.4
4	1	0.8	0	1.1	4	0	0.0	0	1.8
5	0	0.4	0	1.7	5	0	1.0	0	2.7
6	1	0.5	0	0.5	6	0	0.0	0	1.4
6. 1	3	0.7	0	0.9	10. 1	0	0.2	0	2.8
2	1	1.7	0	0.3	2	0	0.5	0	4.2
3	1	0.7	0	0.4	3	0	0.0	0	3.5
4	0	0.5	0	0.4	4	0	0.0	0	2.0
5	2	1.2	3	0.7	5	0	0.0	0	0.2
6	0	0.2	0	1.5	6	0	0.0	0	0.0
7. 1	0	0.2	0	1.8	合　計	13	13.9	12	95.8
2	0	0.3	0	1.7					
3	2	0.2	0	2.9					
4	0	0.2	0	3.1					
5	0	0.3	0	2.2					
6	0	0.0	0	3.1					

7）ハダニ類、カイガラムシ類

（1）越冬バンドトラップによる越冬密度調査

調査場所	カンザワハダニ 本年	カンザワハダニ 平年	クワコナカイガラムシ 本年	クワコナカイガラムシ 平年
中津町地区圃	0.0	0.1	0.0	0.0
〃　2	0.0	0.0	0.0	0.0
〃　3	0.0	0.4	0.0	0.0
〃　4	0.0	0.6	0.0	0.0
島田町　1	0.0	1.9	0.0	0.0
〃　2	0.0	3.5	0.0	0.0
〃　3	0.0	0.0	0.0	0.0
〃　4	0.0	0.0	0.0	0.1
平　均	0.0	0.7	0.0	0.01

注）１．トラップは幅20cmのクラフト紙を太枝に巻き付けた。

２．１圃３個設置。　トラップ当り虫数。

（２）発生状況調査
①巡回による調査（特定圃場）

調査月日	4/25	5/24		6/24		7/31		8/29	
圃 場 №.	花叢率	寄生葉率	寄生虫数	寄生葉率	寄生虫数	寄生葉率	寄生虫数	寄生葉率	寄生虫数
	%	%	%	%	%	%	%	%	%
地区予察圃１	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	46.0	67.5	12.0	15.0
２	0.0	0.0	0.0	34.0	52.5	46.0	172.5	0.0	0.0
３	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0	10.0	18.0	22.5
４	2.0	0.0	0.0	27.5	45.0	98.0	377.5	0.0	0.0
島　田　１	0.0	0.0	0.0	2.0	2.5	4.0	5.0	2.0	2.5
２	0.0	2.0	2.5	24.0	110.0	0.0	0.0	0.0	0.0
３	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	60.0	0.0	0.0
４	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	5.0
平　均	0.3	0.3	0.3	10.9	26.3	28.8	86.6	4.5	5.6

注）１．50花叢・50葉調査
２．寄生雌成虫数は寄生程度別葉数から算出
寄生程度
Ａ：１～５　頭／葉　　虫数＝2.5Ａ＋7.5Ｂ＋15Ｃ＋25Ｄ
Ｂ：６～10
Ｃ：11～20
Ｄ：21～
Ｅ：０

８）アブラムシ類

（１）発生状況調査
①巡回による調査（特定圃場）

調査月日	4/25		5/24		6/24	
圃場№.	寄生梢率	寄生度	寄生梢率	寄生度	寄生梢率	寄生度
地区予察圃場１	0.0 %	0.0	0.0 %	0.0	8.0 %	2.0
２	0.0	0.0	4.0	1.0	6.0	1.5
３	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	2.0
４	2.0	0.5	12.0	10.0	14.0	4.0
島　田　１	2.0	0.5	0.0	0.0	4.0	4.0
２	0.0	0.0	2.0	0.5	4.0	1.0
３	0.0	0.0	6.0	2.0	2.0	0.5
４	0.0	0.0	2.0	0.5	2.0	0.5
平　均	0.5	0.1	3.2	1.7	5.3	1.9

注）1. 圃場当り50梢調査。

2. 寄生度＝ $\dfrac{４Ａ＋３Ｂ＋２Ｃ＋Ｄ}{４×Ｎ（調査新梢数）}$ ×１００

Ａ：先端４葉全てに寄生
Ｂ：〃３葉に寄生
Ｃ：〃２葉〃
Ｄ：〃１葉〃
Ｅ：寄生なし

（Ⅱ）カキ

１．病害虫に関する調査結果

１）炭疽病

（１）発病状況調査

（６～８月に１圃場１樹50新梢、７～10月に１圃場１樹50果実について調査）

①定点における調査

地区予察圃場（出雲市東福町、富有、慣行散布）調査結果は圃場NO.１に記載

②巡回による調査（出雲市、慣行散布）

２）うどんこ病、円星落葉病、角斑落葉病、灰色かび病、果実黒すじ病

（１）発病状況調査（１圃場１樹10新梢の全葉について調査。灰色かび病、果実黒すじ病については７～10月に１圃場１樹50果実について調査）

①定点における調査

地区予察圃場（出雲市東福町、富有、慣行散布）調査結果は圃場NO.１に記載

②巡回による調査（出雲市、慣行散布）

ア．2013年４月30日

調査園No.	調査葉数	落葉率	灰色かび病 発病葉率	備考(品種)
1	63	0 %	1.6%	富　有
6	57	0	1.8	西　条
8	52	0	0	西　条
10	69	0	0	富　有
11	56	0	0	富　有
12	70	0	0	富　有
13	47	0	0	富　有
平　均	59.4	0	0.5	

イ．５月23日

調査園No.	調査葉数	落葉率	うどんこ病		灰色かび病
			発病葉率	発病度	発病葉率
1	71	0 %	0 %	0	0 %
6	68	0	0	0	1.5
8	75	0	0	0	2.7
10	89	0	0	0	0
11	71	0	0	0	0
12	74	0	0	0	1.4
13	66	0	0	0	0
平　均	73.4	0	0	0	0.8

ウ．６月28日

調査園No.	調査葉数	落葉率	炭疽病	うどんこ病		灰色かび病
			発病枝率	発病葉率	発病度	発病葉率
1	94	0 %	0 %	0 %	0	0 %
6	104	0	0	0	0	0
8	110	1.8	0	0	0	4.6
10	128	0	0	0	0	0.8
11	109	0	0	0	0	0.9
12	114	0	0	0	0	0
13	109	0	0	0	0	0
平　均	109.7	0.3	0	0	0	0.9

エ．８月１日

調査園No.	調査葉数	落葉率	炭疽病	うどんこ病		灰色かび病
			発病枝率	発病葉率	発病度	発病葉率
1	96	1.0%	0 %	22.1%	7.6	0 %
6	93	0	0	2.2	0.5	0
8	106	2.8	0	16.5	4.6	1.0
10	122	0	0	2.5	0.6	0
11	118	0	0	2.5	0.6	0
12	123	0	0	4.9	1.2	0
13	105	0	0	0	0	0
14	102	0	0	2.9	0.7	0
平　均	108.1	0.5	0	6.7	2.0	0.1

調査園No.	調査果数	炭疽病	灰色かび病	果実黒すじ病
		発病果率	発病果率	発病果率
1	50	0 %	0 %	0 %
6	50	0	4.0	0
8	50	0	2.0	0
10	50	0	0	0
11	50	0	0	0
12	50	0	0	0
13	50	0	6.0	0
14	50	0	0	0
平均	50.0	0	1.5	0

オ．８月28日

調査園No.	調査葉数	落葉率	炭疽病	うどんこ病	
			発病枝率	発病葉率	発病度
1	92	4.4%	0 %	45.5%	23.3
6	93	0	0	4.3	1.1
8	103	2.9	0	38.0	20.5
10	117	0	0	19.7	6.2
11	88	0	0	23.9	10.8
12	102	1.0	0	15.8	5.7
13	107	0	0	0	0
14	105	0	0	13.3	4.1
平　均	100.9	1.0	0	20.1	9.0

調査園No.	調査果数	炭疽病	灰色かび病	果実黒すじ病
		発病果率	発病果率	発病果率
1	50	0 %	4.0%	0 %
6	50	0	0	0
8	50	0	2.0	0
10	50	0	2.0	0
11	50	0	0	0
12	50	0	0	0
13	50	0	0	0
14	50	0	4.0	0
平均	50.0	0	1.5	0

カ．９月27日

調査園No.	調査葉数	落葉率	円星落葉病		うどんこ病		角斑落葉病	
			発病葉率	発病度	発病葉率	発病度	発病葉率	発病度
1	86	0 %	0 %	0	8.1%	3.2	0 %	0
6	87	2.3	0	0	5.9	1.8	0	0
8	99	3.0	0	0	20.8	7.6	0	0
10	121	0.8	0	0	4.2	2.5	0	0
11	108	0	0	0	4.6	2.1	0	0
12	106	0	0	0	15.1	5.9	0	0
13	97	0	0	0	0	0	0	0
14	97	0	0	0	6.2	2.3	0	0
平均	100.1	0.8	0	0	8.1	3.2	0	0

調査園No.	調査果数	炭疽病	灰色かび病	果実黒すじ病
		発病果率	発病果率	発病果率
1	50	0 %	0 %	0 %
6	50	0	2.0	0
8	50	0	4.0	0
10	50	0	0	0
11	50	0	0	0
12	50	4.0	2.0	0
13	50	0	0	0
14	50	0	0	0
平均	50.0	0.5	1.0	0

3）カキミガ

（１）予察灯による成虫の誘殺状況

県予察圃場（出雲市芦渡町）での誘殺は認めなかった。

（２）被害の発生消長調査

平田市の一般圃場５園において５月下旬～８月下旬に５回各園100果について調査を行ったが被害は認めなかった。

4）カメムシ類

（１）予察灯による成虫の誘殺状況（水銀灯100W）

○県予察圃場（出雲市芦渡町）

月・半旬	ﾁｬﾊﾞﾈｱｵｶﾒﾑｼ		ｸｻｷﾞｶﾒﾑｼ		ﾂﾔｱｵｶﾒﾑｼ		ｱｵｸｻｶﾒﾑｼ	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4. 1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5	0	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6	0	0.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5. 1	0	1.7	0	0.0	0	0.1	0	0.0
2	0	17.4	0	1.3	0	0.1	0	0.0
3	0	13.1	0	0.2	0	0.3	0	0.2
4	0	1.2	0	0.4	0	0.4	0	0.0
5	2	4.1	0	0.1	0	0.4	0	0.0
6	1	8.5	3	0.3	0	2.6	0	0.0
6. 1	3	1.2	0	0.1	0	0.0	0	0.0
2	0	1.6	0	0.7	0	1.5	0	0.0
3	17	5.7	0	0.8	0	3.1	0	0.0
4	5	18.5	0	1.2	0	13.3	0	0.0
5	0	14.6	0	1.0	1	12.4	0	0.3
6	0	48.9	0	7.7	0	30.7	0	0.1
7. 1	13	101.1	0	9.8	0	25.9	0	0.1
2	14	58.1	0	6.8	0	47.9	0	0.0
3	12	124.9	1	19.3	1	32.0	0	0.3
4	13	120.5	3	29.8	0	32.5	0	0.1
5	14	149.2	0	28.4	0	19.1	1	1.5
6	18	136.1	2	64.2	1	31.7	0	0.5
8. 1	17	105.7	1	40.5	0	13.3	0	0.8
2	73	99.8	11	50.1	0	27.2	0	0.4
3	67	99.9	9	71.6	3	33.7	0	0.3
4	48	101.2	3	20.9	13	20.3	0	0.0
5	33	55.4	1	20.4	0	6.7	0	0.1
6	76	33.0	0	13.3	0	4.1	0	0.0
9. 1	51	43.1	1	8.7	1	5.4	0	0.0
2	60	26.2	0	4.7	1	3.0	0	0.0
3	177	38.8	0	3.2	4	6.4	0	0.0
4	17	24.7	0	1.2	4	3.0	0	0.0
5	44	11.9	0	1.6	0	4.4	0	0.0
6	0	2.7	0	0.1	3	0.6	0	0.0
10. 1	0	4.4	0	0.0	1	3.6	0	0.0
2	0	4.0	0	1.5	1	7.5	0	0.0
3	0	0.0	0	0.8	0	1.5	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0	3	0.8	0	0.0
5	0	0.0	0	2.8	0	2.6	0	0.0
6	0	0.0	0	0.3	0	0.0	0	0.0
合計	775	1477.5	35	413.7	31	398.1	1	4.7

5）チャノコカクモンハマキ
（1）予察灯・フェロモントラップによる成虫の誘殺状況
ナシのチャノコカクモンハマキの項に掲載

6）チャハマキ
（1）予察灯・フェロモントラップによる成虫の誘殺状況
ナシのチャハマキの項に掲載

7）カキクダアザミウマ
（1）粘着トラップによる誘殺状況
○県予察圃場（出雲市芦渡町）
①越冬成虫の誘殺状況

月　日	誘殺数	月　日	誘殺数	月　日	誘殺数
4.11	0	4.21	0	5. 1	0
12	0	22	0	2	0
13	0	23	0	3	0
14	0	24	0	4	0
15	0	25	0	5	0
16	0	26	0	6	0
17	0	27	0	7	0
18	0	28	0	8	0
19	0	29	0	9	0
20	0	30	0	10	0
				合　計	0

②第1世代成虫の誘殺状況

月．半旬	本年	平年	月.半旬	本年	平年	月.半旬	本年	平年
6. 1	0	0.8	7. 1	3	0.9	8. 1	0	0.0
2	0	0.4	2	0	0.2	2	0	0.0
3	3	0.5	3	0	0.0	3	0	0.2
4	1	0.5	4	0	0.0	4	0	0.2
5	0	0.2	5	0	0.0	5	0	0.0
6	0	1.0	6	0	0.0	6	0	0.0
						合　計	7	5.3

8）フジコナカイガラムシ

（1）フェロモントラップによる誘殺状況（一般圃場：出雲市東福町）

月．半旬	誘殺数	月.半旬	誘殺数	月.半旬	誘殺数
3．1	－	6．1	15	9．1	2
2	－	2	3	2	45
3	－	3	3	3	74
4	－	4	2	4	24
5	－	5	0	5	5
6	－	6	0	6	5
4．1	－	7．1	9	10．1	6
2	－	2	2	2	2
3	－	3	2	3	0
4	－	4	13	4	0
5	0	5	13	5	1
6	0	6	9	6	0
5．1	0	8．1	15	11．1	0
2	8	2	21	2	0
3	21	3	99	3	0
4	26	4	110	4	0
5	23	5	56	5	0
6	29	6	23	6	－

（2）果実の被害状況

○一般圃場（平田市）

調査月日	調査数	カメムシ 被害果数	カメムシ 被害果率(%)	カキクダアザミウマ 被害梢数＊	カキクダアザミウマ 被害梢率(%)	コナカイガラムシ 被害果数	コナカイガラムシ 被害果率(%)	ハマキムシ 被害果数	ハマキムシ 被害果率(%)
4.23	―	―	―	0	0.0	0	0	―	―
5.12	―	―	―	2	0.4	0	0	0	0
5.28	500	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0
6.23	500	0	0.0	0	0	12	2.4	3	0.6
7.30	500	0	0.0	0	0	28	5.6	7	1.4
8.27	500	0	0.0	0	0	68	13.6	18	3.6
9.25	500	5	1.0	0	0	85	17.0	34	6.8
10.29	400	7	1.8	0	0	59	14.8	32	8.0

注）＊：各園100新梢、計500新梢調査

（3）定点における調査

①収穫果実の被害調査

○一般圃場（平田市）

調査月日	調査果数	カメムシ 被害果数	カメムシ 被害果率(%)	カキクダアザミウマ 被害果数	カキクダアザミウマ 被害果率(%)	コナカイガラムシ 被害果数	コナカイガラムシ 被害果率(%)	ハマキムシ 被害果数	ハマキムシ 被害果率(%)
11.20	1537	10	0.7	0	0.0	246	16.0	115	7.5

（Ⅲ）クリ

１．病害虫に関する調査結果

１）モモノゴマダラノメイガ

（１）予察灯による成虫の誘殺状況

○県予察圃場（出雲市芦渡町）

月．半旬	本　年	平　年	月．半旬	本　年	平　年
５．１	0	0.0	８．１	0	0.2
2	0	0.0	2	0	0.3
3	0	0.0	3	0	0.0
4	0	0.0	4	0	0.3
5	0	0.0	5	0	0.4
6	0	0.0	6	0	0.1
６．１	0	0.1	９．１	0	0.1
2	2	0.5	2	0	0.1
3	0	0.3	3	0	0.0
4	0	0.0	4	0	0.0
5	0	0.0	5	0	0.0
6	0	0.1	6	0	0.1
７．１	0	0.0	１０．１	0	0.0
2	0	0.0	2	0	0.0
3	0	0.0	3	0	0.0
4	0	0.0	4	0	0.0
5	0	0.0	5	0	0.0
6	0	0.4	6	0	0.0
			合　計	2	3.0

２）クスサン

（１）予察灯による成虫の誘殺状況

①半旬別誘殺表

○県予察圃場（出雲市芦渡町）

月．半旬	本 年	平 年	月．半旬	本 年	平 年	月．半旬	本 年	平 年
８．１	0	0.0	９．１	0	0.4	１０．１	8	12.4
2	0	0.0	2	0	2.0	2	4	8.0
3	0	0.0	3	1	2.4	3	0	2.3
4	0	0.0	4	0	3.1	4	0	0.3
5	0	0.2	5	4	6.1	5	0	0.0
6	0	0.0	6	5	7.7	6	0	0.0
						合　計	22	44.7

Ⅲ）野菜

（Ⅰ）キャベツ

１．病害虫に関する調査結果

１）黒腐病

（１）発病状況調査

①巡回による調査

○調査場所：斐川町

調査月日	作型	調査圃場数	黒　腐　病		
			発生圃場率(%)	発病株率(%)	発病度
’13.9.25	夏秋 冬	18 12	0 0	0 0	0 0

注）調査株数：50株/圃場。

２）菌核病、株腐病

（１）発病状況調査

①巡回による調査

○調査場所：斐川町

調査月日	作型	調　査 圃場数	菌　核　病		軟　腐　病		根こぶ病		株　腐　病	
			発　生 圃場率	発病 株率	発　生 圃場率	発病 株率	発　生 圃場率	発病 株率	発　生 圃場率	発病 株率
’13.9.25	夏秋 冬	18 12	5.5 % 0	0.1 % 0	0 % 0	0 % 0	0 % 0	0 % 0	0.0 % 0.0	0.0 % 0.0

注）調査株数：50株/圃場。

３）モンシロチョウ

（１）発生状況調査

①巡回による調査

ア．夏秋キャベツ

○松江市,出雲市

調査月日	調査圃場数	発生圃場率(%)	寄生株率(%)	10株当り虫数
2013.8.29	12	41.7	7.5	0.75
9.25	2	100	10.0	1.00
9.27	11	0	0	0

注）調査株数：10株/圃場。

４）コナガ

（１）発生状況調査

①巡回による調査

ア．夏秋キャベツ

○松江市,出雲市

調査月日	調査圃場数	発生圃場率(%)	寄生株率(%)	10株当り虫数
2013.8.29	12	0	0	0.17
9.25	2	0	0	0
9.27	11	9.1	0.91	0.09

注）調査株数：10株/圃場。

5）ヨトウガ
（1）発生状況調査
①巡回による調査
ア．夏秋キャベツ
○松江市,出雲市

調査月日	調査圃場数	発生圃場率(%)	幼虫寄生株率(%)
2013.8.29	12	0	0
9.25	2	0	0
9.27	11	9.1	0.91

注）調査株数：10株/圃場。

6）ウワバ類
（1）発生状況調査
①巡回による調査
ア．夏秋キャベツ
○松江市,出雲市

調査月日	調査圃場数	発生圃場率(%)	寄生株率(%)	10株当り虫数
2013.8.29	12	41.7	6.7	0.67
9.25	2	0	0	0
9.27	11	9.1	0.9	0.09

注）調査株数：10株/圃場。

7）アブラムシ類
（1）黄色水盤による有翅虫の誘殺状況
イチゴのアブラムシ類の項に掲載。
（2）発生状況調査
①巡回による調査
ア．夏秋キャベツ
○松江市,出雲市

調査年月日	調査圃場数	ニセダイコンアブラムシ		モモアカアブラムシ	
		発生圃場率(%)	寄生株率(%)	発生圃場率(%)	寄生株率(%)
2013.8.29	12	41.7	7.5	8.3	0.8
9.25	2	0	0	0	0
9.27	11	63.7	17.3	8.3	0.8

注）調査株数：10株/圃場。

8）ハスモンヨトウ
（1）フェロモントラップによる雄成虫の誘殺状況
①半旬別誘殺数
○設置場所：出雲市芦渡町

月．半旬	本 年	*平 年	月．半旬	本 年	*平 年	月．半旬	本 年	*平 年
4．1	0	0.3	6．3	2	11.6	8．5	206	66.0
2	0	0.1	4	29	16.0	6	260	77.7
3	0	0.2	5	135	28.1	9．1	402	84.2
4	0	0.3	6	48	41.5	2	125	212.9
5	0	1.1	7．1	73	107.2	3	170	192.5
6	0	1.3	2	78	79.8	4	305	113.4
5．1	0	1.2	3	50	64.1	5	39	93.9
2	0	2.8	4	31	56.6	6	40	48.4
3	0	7.7	5	27	40.2	10．1	52	47.56
4	0	5.4	6	54	42.5	2	96	37.9
5	0	5.6	8．1	81	35.5	3	133	40.6
6	8	6.5	2	56	46.6	4	50	40.3
6．1	12	10.2	3	49	77.1	5	33	49.8
2	2	9.6	4	44	70.3	6	36	50.8
						総 計	2726	1925.4

注）農技センター屋上設置。*：平成15～24年の平均値

○設置場所：益田市飯田町

月．半旬	本年	*平年	月．半旬	本年	*平年	月．半旬	本年	*平年
５．１	0	1.9	７．１	53	62.2	９．１	451	113.0
２	0	4.56	２	49	78.2	２	83	220.6
３	2	6.5	３	30	45.1	３	62	166.6
４	2	9.0	４	21	42.0	４	606	162.1
５	8	20.4	５	7	42.9	５	103	188.4
６	9	27.1	６	72	60.8	６	213	206.7
６．１	22	24.0	８．１	63	55.0	１０．１	147	164.0
２	6	10.7	２	39	42.4	２	92	129.2
３	2	16.2	３	119	75.7	３	362	77.9
４	30	17.4	４	60	131.4	４	130	97.8
５	127	20.3	５	143	149.4	５	87	133.5
６	136	42.5	６	348	166.3	６	253	249.1
						総　計	3937	3060.9

注）＊：平成15～24年の平均値

（２）発生状況調査

①巡回による調査

ア．夏秋キャベツ

○松江市，出雲市

調査月日	調査圃場数	発生圃場率(%)	寄生株率(%)
2013.8.29	12	16.7	3.3
9.25	2	50.0	5.0
9.27	11	0	0

注）調査株数：10株/圃場。

9）シロイチモジヨトウ

（１）フェロモントラップによる雄成虫の誘殺状況

①半旬別誘殺数

○設置場所：出雲市芦渡町

月．半旬	本 年	*平 年	月．半旬	本 年	*平 年	月．半旬	本 年	*平 年
４．１	0	0.1	６．３	0	0.4	８．５	12	2.6
２	0	0.0	４	0	0.2	６	18	2.3
３	0	0.0	５	2	0.6	９．１	22	2.8
４	0	0.0	６	1	0.1	２	1	3.8
５	0	0.0	７．１	0	1.4	３	1	1.8
６	0	0.0	２	0	0.6	４	5	3.4
５．１	0	0.1	３	0	0.3	５	0	2.3
２	0	0.4	４	0	0.4	６	2	0.4
３	0	0.4	５	1	0.5	１０．１	1	0.6
４	0	0.3	６	1	4.7	２	0	0.4
５	0	0.7	８．１	5	1.4	３	3	0.3
６	0	0.4	２	17	0.9	４	0	0.0
６．１	0	0.4	３	10	3.8	５	0	0.0
２	0	0.4	４	0	4.1	６	0	0.3
						総　計	102	43.6

注）農技センター屋上設置。＊：平成15～24年の平均値

○設置場所：益田市飯田町

月．半旬	本年	*平年	月．半旬	本年	*平年	月．半旬	本年	*平年
５．１	0	0.0	７．１	0	2.3	９．１	8	9.7
２	0	0.0	２	1	1.8	２	13	8.1
３	0	0.2	３	5	2.5	３	15	9.4
４	0	0.2	４	1	1.6	４	8	8.6
５	0	0.6	５	0	2.5	５	3	9.8
６	0	0.6	６	8	3.3	６	3	12.4
６．１	3	0.1	８．１	22	7.6	１０．１	0	3.9
２	0	0.5	２	5	4.9	２	0	1.3
３	0	0.7	３	19	6.3	３	0	0.8
４	1	0.4	４	15	14.6	４	0	1.5
５	4	2.0	５	13	17.0	５	0	1.4
６	0	1.9	６	16	17.4	６	0	1.2
						総　計	163	157.1

注）＊：平成15～24年の平均値

（２）発生状況調査
①巡回による調査
ア．夏秋キャベツ
○松江市，出雲市

調査月日	調査圃場数	発生圃場率(%)	寄生株率(%)
2013.8.29	12	0	0
9.25	2	0	0
9.27	11	0	0

注）調査株数：10株/圃場。

１０）オオタバコガ
（１）フェロモントラップによる雄成虫の誘殺状況
①半旬別誘殺数
○設置場所：出雲市芦渡町

月．半旬	本 年	*平 年	月．半旬	本 年	*平 年	月．半旬	本 年	*平 年
４．１	0	0.0	６．３	0	0.2	８．５	0	0.1
２	0	0.0	４	0	0.6	６	0	0.4
３	0	0.0	５	0	0.1	９．１	0	0.2
４	0	0.0	６	0	0.0	２	0	1.3
５	0	0.0	７．１	0	0.0	３	0	0.3
６	0	0.0	２	0	0.2	４	0	1.1
５．１	0	0.0	３	0	0.2	５	0	0.7
２	0	0.0	４	0	0.1	６	0	0.1
３	0	0.2	５	0	0.1	１０．１	0	0.1
４	0	0.0	６	0	3.9	２	0	1.4
５	0	0.5	８．１	0	0.1	３	0	0.3
６	0	0.0	２	0	0.0	４	0	0.6
６．１	0	0.2	３	0	0.0	５	0	1.1
２	0	0.0	４	0	0.1	６	0	1.0
						総 計	0	15.2

注）農技センター屋上設置。＊：平成15～24年までの平均値。

○設置場所：益田市飯田町

月．半旬	本年	*平年	月．半旬	本年	*平年	月．半旬	本年	*平年
５．１	0	0.3	７．１	0	0.2	９．１	0	0.4
２	0	0.2	２	0	0.3	２	0	0.2
３	0	0.6	３	0	0.2	３	0	0.0
４	0	0.5	４	0	0.0	４	0	0.2
５	0	0.0	５	0	0.1	５	0	0.7
６	0	0.3	６	0	0.4	６	0	0.8
６．１	0	0.1	８．１	0	0.2	１０．１	0	0.4
２	0	0.1	２	0	0.1	２	1	0.6
３	0	0.0	３	0	0.1	３	1	0.3
４	0	0.0	４	0	0.3	４	0	1.6
５	0	0.0	５	0	0.2	５	1	0.6
６	0	0.6	６	0	0.3	６	4	2.9
						総 計	7	13.8

注）＊：平成15～24年の平均値

（２）発生状況調査
①巡回による調査
ア．夏秋キャベツ
○松江市，出雲市

調査月日	調査圃場数	発生圃場率(%)	寄生株率(%)
2013.8.29	12	8.3	1.7
9.25	2	50.0	5.0
9.27	11	18.2	1.8

注）調査株数：10株/圃場。

11）キスジノミハムシ
（１）発生状況調査
①巡回による調査
ア．夏秋キャベツ
○松江市，出雲市

調査年月日	調査圃場数	発生圃場率(%)	寄生株率(%)
2013.8.29	12	33.3	8.3
9.25	2	0	0
9.27	11	9.1	1.8

注）調査株数：10株/圃場。

（Ⅱ）タマネギ

１．病害虫に関する調査結果

１）べと病

（１）発生状況調査

①巡回による調査

調査月日	調査場所	調査圃場数	発生圃場率(%)	調査株数	発病株率(%)
’13. 3.26	斐川町	30	10.0	664,300	0.034
4.30	斐川町	30	53.3	9,000	7.91

２）白色疫病、ボトリチス属菌による葉枯症、腐敗病・軟腐病、さび病

（１）発生状況調査

①巡回による調査

調査月日	調査場所	調査圃場数	白色疫病		ﾎﾞﾄﾘﾁｽ属菌による葉枯症		腐敗病･軟腐病	
			発生圃場率(%)	発病株率(%)	発生圃場率(%)	発病株率(%)	発生圃場率(%)	発病株率(%)
’13. 3.26	斐川町	30	26.7	1.4	0.0	0.0	3.3	0.03
4.30	斐川町	30	13.3	0.4	0.0	0.0	10.0	0.2

注）調査株数：300株/圃場。さび病の発生はみられなかった。

（Ⅲ）イチゴ

１．病害虫に関する調査結果

１）灰色かび病

（１）発病状況調査

①巡回による調査

調査年月日	調査場所	調査圃場数	発生圃場率(%)	発病株率(%)	調査葉数	発病葉率(%)	調査花梗数	発病花梗率(%)	調査果実数	発病果率(%)
’13.3.21	安来市	7	57.1	4.0	2645	0.3	2575	0.0	2200	0.0
4.24	安来市	7	57.1	12.0	3260	0.6	1570	0.0	720	0.0

注）１圃場当たり25株調査

２）アブラムシ類

（１）黄色水盤による有翅虫の誘殺状況

①半旬別誘殺数

月．半旬	本年	*平年	月．半旬	本年	*平年	月．半旬	本年	*平年
４．１	0	0.2	７．１	19	79.1	１０．１	134	38.6
２	0	1.9	２	21	70.7	２	78	37.3
３	4	1.9	３	8	40.8	３	42	23.5
４	5	4.1	４	8	19.5	４	8	14.1
５	5	7.7	５	5	10.8	５	3	39.5
６	11	22.3	６	17	16.9	６	10	66.3
５．１	23	29.7	８．１	11	22.1			
２	16	26.0	２	13	18.4	総　計	1322	1689.7
３	38	27.1	３	17	14.6			
４	90	52.1	４	13	16.5			
５	76	54.7	５	15	14.2			
６	99	68.9	６	53	22.0			
６．１	46	57.0	９．１	72	14.0			
２	11	103.5	２	7	23.0			
３	29	92.7	３	36	27.3			
４	82	98.9	４	27	85.9			
５	53	130.6	５	42	49.3			
６	13	111.6	６	62	34.4			

注）１黄色水盤：径20㎝、深さ18㎝、ライシメータ上に設置。
２調査：平成25年4月から10月に1～6日おきに飛び込み有翅虫数を調査した。
３＊：平成15年から平成24年までの平均値。

（２）発生状況調査
①巡回による調査
○安来地区

調査年月日	調査圃場数	ワタアブラムシ		ﾁｭｰﾘｯﾌﾟﾋｹﾞﾅｶﾞｱﾌﾞﾗﾑｼ	
		発生圃場率(%)	寄生株率(%)	発生圃場率(%)	寄生株率(%)
2013.3.20	6	50.0	6.7	0	0
4.24	6	33.3	5.0	0	0

注）調査株数：20株(1株3複葉)/圃場。

３）ハダニ類
（１）発生状況調査
①巡回による調査
○安来地区

調査年月日	調査圃場数	カンザワハダニ			ナミハダニ		
		発生圃場率(%)	寄生株率(%)	寄生小葉率(%)	発生圃場率(%)	寄生株率(%)	寄生小葉率(%)
2013.3.20	6	0	0	0	66.7	10.8	8.1
4.24	6	0	0	0	50.0	19.2	14.3

注）調査株数：20株(1株3複葉)/圃場。

４）オンシツコナジラミ
（１）発生状況調査
①巡回による調査
○安来地区

調査年月日	調査圃場数	発生圃場率(%)	寄生株率(%)
2013.3.20	6	100.0	21.7
4.24	6	75.0	14.3

注）調査株数：20株(1株3複葉)/圃場。

Ⅳ）花卉
１．病害虫に関する調査結果
（１）キク
１）アブラムシ類
（１）黄色水盤による有翅虫の誘殺状況
イチゴのアブラムシ類の項に掲載

Ｖ）病害虫発生程度別面積　2013（H.25）

農作物名	作付面積(ha)	病害虫名	程度別発生面積(ha)					防除面積(ha)		備考
			甚	多	中	少	計	実	延	
普通期水稲	18,800	苗立枯病	0	0	1	40	41	14,500	14,700	
		苗いもち	0	0	2	18	20			
		葉いもち	1	5	100	1,250	1,356	13,200	15,500	
		穂いもち	0	5	30	700	735	9,500	12,000	
		紋枯病	5	25	300	5,200	5,530	8,000	8,500	
		白葉枯病	0	0	0	30	30	0	0	
		ばか苗病	0	0	2	30	32	14,300	14,300	
		もみ枯細菌病	0	0	1	10	11	125	125	
		もみ枯細菌病(種子消毒)					-	-14,300	-14,300	
		ごま葉枯病	5	20	300	4,500	4,825	-5,000	-5,000	
		黄化萎縮病	0	0	0	5	5	0	0	
		縞葉枯病	0	0	0	30	30	0	0	
		萎縮病	0	0	0	0	0	0	0	
		ニカメイガI	0	0	0	2,600	2,600	-11,800	-11,800	
		ニカメイガII	0	0	0	1,175	1,175	-10,200	-10,200	
		セジロウンカ	0	0	0	14,100	14,100	-10,200	-10,200	
		トビイロウンカ	10	100	500	12,840	13,450	10,200	10,200	
		ヒメトビウンカ	0	0	0	8,610	8,610	-11,800	-11,800	
		ツマグロヨコバイ	0	450	1,840	9,170	11,460	-10,200	-10,200	
		イネミギワバエ	0	0	90	1,000	1,090	-11,800	-11,800	
		イネドロオイムシ	0	0	0	60	60	-11,800	-11,800	
		イネゾウムシ	0	0	0	600	600	-11,800	-11,800	
		イネクロカメムシ	0	0	20	100	120	125	125	
		斑点米カメムシ類	0	2,860	4,550	5,700	13,110	10,200	10,200	
		イチモンジセセリ	0	0	10	500	510	10	10	
		フタオビコヤガ	0	0	0	1,000	1,000	200	200	
		イネヨトウ	0	0	0	50	50	0	0	
		アワヨトウ	0	0	0	0	0	0	0	
		コブノメイガ	0	0	0	200	200	100	100	
		イネミズゾウムシ	0	0	0	9,024	9,024	11,800	11,800	
麦	640	さび病類	0	0	0	0	0	0	0	
		うどんこ病	0	0	0	0	0	-500	-500	
		赤かび病	0	0	0	3	3	550	1,100	
		黒穂病類	0	0	0	0	0	0	0	
		黒節病	0	0	1	10	11	0	0	
		大麦縞萎縮病	0	0	0	0	0	0	0	
		斑葉病	0	0	0	1	1	0	0	

農作物名	作付面積(ha)	病害虫名	程度別発生面積(ha)					防除面積(ha)		備考
			甚	多	中	少	計	実	延	
大豆	969	アブラムシ類	0	0	20	130	150	400	400	
		ハスモンヨトウ	0	5	30	240	275	400	600	
		吸実性カメムシ類	2	20	140	470	632	400	600	
なし	91	黒斑病	7	16	20	28	71	45	585	
		黒星病	0	0	3	30	33	91	637	
		ナシヒメシンクイ	0	3	15	12	30	98	196	
		モモシンクイガ	0	0	0	10	10	98	196	
		ハマキムシ類	0	0	3	8	11	98	196	
		ハダニ類	0	25	35	30	90	98	294	
		カメムシ類	0	0	0	15	15	98	196	
		カイガラムシ類	0	0	0	10	10	98	98	
		アブラムシ類	0	5	10	20	35	98	98	
		ニセナシサビダニ	10	30	20	20	80	98	294	
かき	403	炭そ病	0	0	3	21	24	350	2,100	
		うどんこ病	1	7	11	28	47	350	1,050	
		落葉病類	0	0	15	50	65	350	1,050	
		カキノヘタムシガ(カキミガ)	0	0	20	20	40	400	800	
		カイガラムシ類	10	50	65	150	275	400	1,200	
		カメムシ類	0	0	0	175	175	400	1,600	
		ハマキムシ類	0	10	10	50	70	400	800	
		チャノキイロアザミウマ	0	0	10	5	15	400	800	
		カキクダアザミウマ	0	0	0	40	40	400	800	
夏秋キャベツ	57	黒腐病	0	0	1	7	8	28	56	
		菌核病	0	0	1	6	7	28	35	
		モンシロチョウ	0	1	2	10	13	50	200	
		コナガ	0	0	2	21	23	50	200	
		ハスモンヨトウ	0	0	3	16	19	50	200	
冬キャベツ	118	黒腐病	0	0	1	8	9	40	60	
		菌核病	0	0	4	12	16	50	100	
		モンシロチョウ	0	1	4	33	38	110	220	
		コナガ	0	1	4	20	25	110	220	
		ハスモンヨトウ	0	1	5	35	41	110	220	
タマネギ	108	白色疫病	0	0	7	23	30	80	280	
		べと病	4	11	14	31	60	98	640	
		ボトリチス属菌による葉枯れ	0	0	0	40	40			

農作物名	作付面積 (ha)	病害虫名	程度別発生面積 (ha)					防除面積(ha)		備考
			甚	多	中	少	計	実	延	
イチゴ	13	灰色かび病	0	0	1	5	6	11	54	
		アブラムシ類	0	1	2	7	10	12	24	
		ハダニ類	0	1	2	6	9	12	24	
きく	16	アブラムシ類	0	0	1	3	4	15	90	

Ⅵ)病害虫発生経過の概要及び発生原因の解析

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
イネ	いもち病	葉いもち平年並、穂いもち平年並	葉いもち少、穂いもち少	葉いもちの初発生は６月13日、全般発生期は６月第６半旬といずれも平年並みであった。葉いもちの病勢は発生初期から緩慢であった。７月下旬の巡回調査による発生圃場率は0%（平年25.0%）、発病株率が0%（平年13.2%）となり、全般の発生量は平年に比べて少なかった。穂いもちの初発は８月２日と平年並みであった。病勢は緩慢で８月下旬の巡回調査による発生圃場率は1.4%（平年22.9%）、発病穂率は0.1%（平年1.4%）で、県下全般の発生量は少なかった。	６月には第３～６半旬に感染好適日が県内各地で出現し、アメダス観測15地点におけるBLASTAMによる出現回数は52回（平年17.5回）と平年に比べて多かった。７月８日に平年（21日）より早く梅雨明けとなり、８月下旬まで気温が高く、降雨頻度が低く経過したため感染が抑制されたものと考えられる。なお、７月の感染好適日の出現回数は８回（平年21.1回）、８月は７回（平年12.2回）であった。	常習発生地では育苗箱施薬が行われた。また、発生に応じ薬剤散布が行われた。
	紋枯病	平年並	やや少ない	初発生は平年並みの６月17日に認められた。初期の病勢進展は緩慢で発病株率は低く経過した。しかし、発病株では活発に上位進展し発病程度は高かった。	栽培期間を通して全般に気温は高く経過し、生育後半には適度な降雨があった。梅雨明けが早く生育前半に比較的降雨が少なく、また、中干し等の水管理が徹底され水平進展が抑制されたものと考えられる。	育苗箱施薬や発生に応じて出穂期までに薬剤散布が行われた。
	縞葉枯病	－	平年並	初発生は６月24日に認められた。その後、ゆうれい症状を呈する発病株が認められたが、１圃場当たりの発病株数は数株程度であった。巡回調査における発生圃場率は１%で、22年ぶりに広域的多発生となったH20年度の16.9%と比較すると顕著に低下し、全般の発生量は平年並みとなった。また、再生稲における発病株率も前年とほぼ同じ0.1%であった。	ヒメトビウンカの越冬世代～第１世代の発生量は多い～やや多かったが、４月に捕獲されたヒメトビウンカの保毒虫率は、ほぼ前年並みの1.2%と低かったことから、本病の発生量は平年並みになったものと考えられる。	これまでに、縞葉枯病が多発生した地域では、箱施薬剤等による媒介虫のヒメトビウンカに対する防除が行われた。
	セジロウンカ	遅い	平年並	予察灯での初飛来は平年に比べて遅い７月３日に認められたが、その後の飛来は平年に比べてやや少なく経過した。現地圃場の成幼虫の発生は７月下旬に25株当り虫数が12.7頭、発生圃場率が75.0%となり、全般の発生量は平年並みであった。	飛来量が平年に比べてやや少なかったこと、飛来のあった７月上旬以降平均気温が高く降水量も少なかったため、全般の発生量は平年並みになったものと考えられる。	大部分の圃場では育苗箱施薬が行われており、長期残効型箱剤の施用面積も拡大している。また、出穂時に穂いもち・ウンカ類の同時防除が行われた。
	トビイロウンカ	早い	やや多い	予察灯での初飛来は県西部で平年に比べて早い６月19日に認められたが、その後の飛来はほぼ平年並みで経過した。現地圃場の成幼虫の発生は７月下旬は25株当り虫数が0.04頭、発生圃場率が4.2%と平年並みであったが、８月下旬には25株当り虫数が4.9頭、発生圃場率が65.9%まで高まった。全般の発生量は平年に比べてやや多かっ	飛来量がほぼ平年並みであったこと、７月～８月は平均気温が高く降水量も少なかったため、全般の発生量は平年に比べてやや多くなったものと考えられる。	大部分の圃場では育苗箱施薬が行われており、長期残効型箱剤の施用面積も拡大している。また、出穂時に穂いもち・ウンカ類の同時防除が、収穫時期の遅い圃場では発生に応じて追加防除が行われた。
	斑点米カメムシ類	平年並	平年並	６月下旬の圃場周辺雑草地でのすくい取り調査では、カメムシ類合計で発生量は1.5頭/10回振、（平年2.1頭）で発生量は平年並みである。７月下旬の極早生品種出穂時の調査では、発生量は4.6頭/20回振・圃場率69.7%（平年6.9頭・76.3%）で平年並みの発生であった。全般の発生量はほぼ平年並みで経過した。主な発生種はホソハリカメムシ、アカスジカスミカメであった。	７月中旬以降平均気温が高く降水量も少なかったため、水田周辺のイネ科雑草が早く枯れ上がり侵入源での増殖が抑制されたと考えられる。	発生に応じて穂揃い・乳熟期～糊熟期に薬剤散布が行われた。カメムシ防除を兼ねた長期残効型箱剤の施用面積も拡大している。
ムギ	さび病	－	少ない	オオムギ、コムギとも巡回調査では発生を確認できなかった。	近年発生が少ないことから、伝染源量が少ないものと考えられる。	本病を対象とした防除は特に行われなかった。
	赤かび病	－	少ない	５月下旬における発生量は発生圃場率が1.3%（平年3.1%）、発病穂率は0.０１%（平年0.08%）と平年に比べて少なかった。	４月の降水量は平年並みであった、5月の降水量が少なく本病の感染に抑制的であったものと考えられる。	ムギの種類に応じて出穂期以降、薬剤散布が実施された。

	うどんこ病	－	少ない	オオムギ、コムギとも巡回調査では発生を確認できなかった。	近年発生が少ないことから、伝染源量が少ないものと考えられる。	他の病害との同時防除が行われた。
ダイズ	ハスモンヨトウ	平年並	やや少ない	フェロモントラップによる雄成虫の累積誘殺数は９月下旬まで平年並み～やや多かった。圃場での幼虫の発生は平年並みの８月下旬からみられた。９月末の発生量はやや少なかった。	成虫の飛来量は平年並み～やや多かったが、防除効果の高い薬剤が適期に散布されたため、幼虫の発生量はやや少なくなったものと思われる。	発生に応じて薬剤散布が行われた。
ナシ	黒斑病	平年並	多い	発生量は、５月下旬まではほぼ平年並みで推移したが、６月下旬以降は平年と比べて多く推移した。。	梅雨時期の降雨と気温が高く推移したことが発生量が多くなった要因として考えられる。	６月24日付けで注意報を発表し、的確な薬剤散布を促した。以後、袋がけ時期を中心に収穫期まで薬剤散布が行われた。
	黒星病	早い	平年並	全般の発生量は平年並みであった。	開花期～5月上旬まで低温傾向で発生が懸念されたが、6月下旬以降は気温が高く、降雨が少ない傾向で推移したため、平年並みになったと考えられる。	開花期から袋かけ期を中心に薬剤防除が行われた。
	ナシヒメシンクイ	平年並	平年並	フェロモントラップでの越冬世代、第１世代雄成虫の誘殺時期は平年並み。誘殺数はすべての世代で平年並みとなった。果実の被害は全般には平年並みであった。	３月中下旬は気温が高かったが、４月中旬以降は気温が低く、越冬世代成虫の発生時期は平年並みとなった。越冬量はやや少なく、６月以降の気温は高く推移したため発生量は平年並みになった	小袋掛け前に他害虫との同時防除が行われた。
	モモシンクイガ	平年並	平年並	フェロモントラップでの越冬世代、第１世代雄成虫の誘殺時期は平年並みであった。誘殺数、果実被害は全般に平年並みであった。	前年の発生は平年並みで、越冬世代成虫の発生量も平年並みと考えられる。春先の気温が高く推移したため発生時期は平年並みとなった。また、本県ではほとんどが有袋栽培のため果実の被害は平年並みとなった。	ナシヒメシンクイ、ハマキムシ類との同時防除が行われた。
	ハマキムシ類	平年並	やや少ない	フェロモントラップでのチャハマキ、チャノコカクモンハマキの越冬世代の発生時期は平年並みであった。チャハマキ、チャノコカクモンハマキの発生量はやや少なく、幼虫による被害もやや少なかった。	３月は気温が高かったものの４月の気温はやや低く、越冬世代の発生時期は平年並みとなった。その後、６月以降の気温は高く推移したが、全体の発生量はやや少なくなった。	他害虫との同時防除が行われた。
	ハダニ類	平年並	平年並	ハダニ類の発生量は４月下旬の花叢への寄生率はやや少なかったが、その後、６月から８月に発生が平年並みとなった。全般の発生量は平年並みであった。	カンザワハダニの越冬量はやや少なかったが、４月下旬にクワオオハダニの花叢への寄生がみられたが、やや少なかった。その後、５月の気温が高く、発生量が一時増加した。その後、降雨等により、発生量は平年並みで推移した。	５月下旬～６月、７月上旬、８月上中旬を中心に薬剤散布が行われた。
	クワコナカイガラムシ	－	やや少ない	全般の発生量はやや少なかった。	－	防虫果袋が使用された。
	アブラムシ類	平年並	平年並	５月上旬の発生量は新梢の寄生程度はやや多かったが、その後、５月下旬には平年並みとなった。全般の発生量は平年並みであっ	４月中旬の気温がやや高く経過したため、発生量はやや多くなったが、防除等により５月下旬の発生は平年並みとなった。その後の	５～６月に薬剤散布が行われた。
カキ	炭疽病	やや遅い	平年並	全般の発生量は平年並みであった。	梅雨時期や8月下旬～9月上旬に降雨が続いたが、炭疽病を主体とした防除体系が行われたため、発生量が平年並みとなったと考えられる。	梅雨時期と8月下旬～9月を中心に薬剤散布が行われた。
	うどんこ病	平年並	やや少ない	8月下旬に発生量が平年と比べてやや多くなったが、9月下旬にはやや少なくなった。	8月末までうどんこ病を対象とした防除が少ないことが、8月に発生がやや多くなった要因と考えられる。8月末のうどんこ病を対象とした防除によって、その後の発生が抑えられたと考えられる。	8月下旬～9月に薬剤散布が行われた。

	円星落葉病	平年並	やや少ない	一部多発園も見られたが、全般の発生量は平年と比べてやや少なかった。	近年、発生量が少ない傾向が続いているため、越冬菌量が少なかったことと、薬剤防除が徹底されたためと考えられる。	5月～7月に薬剤散布が行われた。
	カキミガ	やや早い	平年並	果実における発生量、被害とも平年並みであった。	防除効果の高い薬剤が適期に散布されたためと考えられる。	各世代発生期に薬剤散布が行われた。
	カメムシ類	やや遅い	やや少ない	フェロモントラップでは５月21日に、予察灯では５月24日から誘殺された。その後、誘殺数は少なく推移した。10月に被害が発生し	昨年はヒノキ毬果が少なくカメムシの越冬量は少ないと考えられた。本年はヒノキの花粉飛散量から毬果はやや多いと考えられ、圃	他の害虫との同時防除が行われた。
	カキクダアザミウマ	平年並	平年並	５月８日に被害捲葉の発生を認めた。発生量は平年並みであった。第１世代成虫は６月第４半旬から粘着トラップに誘殺され、誘殺数は平年並みであった。果実被害は７月中旬からみられたが、被害量はやや少なかった。	越冬成虫の飛来量が平年並みであったこと、成虫飛来時期の薬剤散布と被害捲葉の除去などの防除対策により、果実被害の発生量はやや少なかったと考えられる。	越冬成虫飛来期の薬剤散布と捲葉の切除が行われた。
夏秋キャベツ	黒腐病	平年並	やや少ない	巡回調査地点での発生量は生育期間全般を通じてやや少なかった。	食葉性害虫等による葉の傷害も少なく、感染機会は総じて限定的であったものと推察された。また、近年の傾向として発生量がやや少ないことから、伝染源量の減少も発生の抑制に繋がっているものと考えられる。	薬剤による防除が行われた。
	菌核病	平年並	平年並	全般の発生量は平年並であった。	－	薬剤による防除が行われた。
	コナガ	－	少ない	幼虫の発生量は全般に少なかった。	－	定植時の粒剤施用または灌注（土壌またはセルトレイ）と、その後は他のチョウ目害虫との同時
	ハスモンヨトウ	平年並	やや少ない	フェロモントラップによる雄成虫の累積誘殺数は８月中旬まではやや少なかったが、その後増加し、９月上旬から10月末まではやや多かった。圃場での幼虫の発生は９月上旬からみられた。９月下旬には寄生株率が0.7%（平年	成虫の飛来量は平年並み～やや多かったが、防除効果の高い薬剤が適期に散布されたため、幼虫の発生量はやや少なくなったものと思われる。	定植時の粒剤施用または灌注（土壌またはセルトレイ）と、その後は他のチョウ目害虫との同時防除が行われた。
冬キャベツ	黒腐病	平年並	やや少ない	発生圃場は僅かで、発病程度もやや低く、全般の発生量は平年に比べてやや少なかった。	近年発生量がやや少ない～少ないことから、伝染源量が減少し、発生が抑制傾向にあるものと考えられる。	薬剤による防除が行われた。
	菌核病	平年並	やや少ない	県内各地で発生がみられたが、発病程度はやや低く、全般の発生量は平年に比べてやや少なかった。	－	薬剤による防除が行われた。
	コナガ	－	少ない	幼虫の発生量は全般に少なかった。	－	定植時の粒剤施用または灌注（土壌またはセルトレイ）と、その後は他のチョウ目害虫との同時防除が行われた。
	ハスモンヨトウ	平年並	やや少ない	フェロモントラップによる雄成虫の累積誘殺数は８月下旬までやや少なかったが、その後増加し９月上旬から10月末まではやや多かった。圃場での幼虫の発生は９	成虫の飛来量はやや多かったが防除効果の高い薬剤が適期に散布されたため、幼虫の発生量はやや少なくなったものと思われる。	定植時の粒剤施用または灌注（土壌またはセルトレイ）と、その後は他のチョウ目害虫との同時防除が行われた。
タマネギ	白色疫病	平年並	やや多い	３月には県内各地で発生がみられ、発病程度の高い圃場も散見された。盛期の発生量は例年に比べやや多くなったが、４月以降、気温の上昇に伴い例年並みに病勢は鈍化、終息した。	－	発生に応じて薬剤散布が行われた。

	べと病	平年並	多い	３月下旬における越年罹病株の発生量は3.4株/1万株と平年並であった。その後、二次感染株の発生が県内各地で認められ、４月下旬における発生圃場率は53.3%、発病株率は7.9%と過去10年で最も高くなった。	４月の降水量が多い傾向であったことが、二次感染株の発生を助長したと考えられる。	５月２日付けで注意報を発表し、的確な薬剤散布を促した。発生地では二次感染防止のための薬剤散布が行われた。
	さび病	－	平年並	収穫期に発生がみられたが、全般の発生量は平年並みであった。	－	本病を対象とした薬剤散布は行われなかった。
イチゴ	灰色かび病	平年並	平年並	県内各地で発生が認められたが、発病程度の低い圃場が多く、全般の発生量は平年並であった。	－	発生に応じて薬剤散布が行われた。
	アブラムシ類	－	やや多い	促成、半促成栽培における発生量は全般にやや多かった。	前年秋期のアブラムシ類有翅虫の飛来数は平年並みであったが、冬期の気温が高くやや多い発生になったものと考えられる。	定植時とその後は発生に応じて薬剤散布が行われた。

Ⅶ）情報の提供、諸報告に関する事項

１．情報の提供方法及び提供先

１）郵送（＊印は注意報のみ）

○国関係

＊農林水産省 消費･安全局植物防疫課、＊同中国四国農政局 消費･安全部 安全管理課植物防疫係、同松江地域センター(浜田支所)、気象庁松江地方気象台。

○独立行政法人

農業環境技術研究所、農業･食品産業技術総合研究機構 果樹研究所、同果樹研究所ブドウ･カキ研究拠点、同野菜茶業研究所、同近畿中国四国農業研究センター。

○他県関係

＊鳥取、＊岡山、＊広島、＊山口、＊徳島、＊香川、＊愛媛、＊高知、各県担当課。

○県内関係

農業技術センター、島根県立松江農林高等学校、同出雲農林高等学校、同邇摩高等学校、同矢上高等学校、同益田翔陽高等学校、同図書館、病害虫防除員(果樹)。

○県内団体

島根県農業協同組合中央会、全国農業協同組合連合会島根県本部、農業振興協会、島根県農薬卸商協会。

○報道機関

朝日、山陰中央、サンケイ、島根日日、中国、毎日、読売 各新聞社出雲支局（出雲市役所記者室）、ＮＨＫ松江放送局、同出雲通信部、山陰放送、同ラジオ総局、山陰中央テレビ放送局、同出雲通信部、日本海テレビ、同出雲通信部。

２）ＦＡＸ

○県内関係

島根県農林水産部 農業経営課、同農畜産振興課、東部、西部農林振興センター各農業普及部（松江、浜田、安来、雲南、出雲、県央、大田、益田）、隠岐支庁農林局 農業振興グループ、同島前地域振興グループ、中山間地域研究センター、農林大学校、各市町村、各病害虫防除員（水稲）、浜田農林業支援センター。

○報道機関

日本農業新聞松江支局、同中国四国支所、出雲ケーブルテレビジョン、石見ケーブルテレビ、ひとまろビジョン(H24.10.15付け特殊報第２号から)。

３）メール

独立行政法人 農業･食品産業技術総合研究機構 中央農業総合研究センター、県内各農業共済組合。島根県農林水産部 食糧安全推進課。

４）ホームページ

発生予察情報（発生予報、特殊報、注意報、臨時情報）。

２．発表状況

（１）発生予察情報の発表状況

種　類	発表回数	発表部数	対　象　病　害　虫
発生予報	８回	２４０部	○イネ 葉いもち２回、穂いもち３回、紋枯病４回、白葉枯病３回、縞葉枯病２回、萎縮病１回、黄化萎縮病１回、ヒメトビウンカ３回、ニカメイチュウ３回、ツマグロヨコバイ４回、イネドロオイムシ１回イネミズゾウムシ３回、セジロウンカ３回、トビイロウンカ３回、コブノメイガ３回、斑点米カメムシ類３回。 ○ムギ うどんこ病２回、赤かび病２回、さび病類２回。 ○ダイズ ハスモンヨトウ１回。 ○ナシ 黒斑病６回、黒星病３回、シンクイムシ類５回、ハマキムシ類２回、ハダニ類６回、アブラムシ類２回、カメムシ類２回。 ○カキ 円星落葉病１回、うどんこ病３回、灰色かび病１回、カキミガ３回、チャノキイロアザミウマ１回、カメムシ類３回、カキクダアザミウマ１回。

種　類	発表回数	発表部数	対　　象　　病　　害　　虫
			○果樹全般 　カメムシ類２回。 ○キャベツ 　黒腐病１回、菌核病１回。 ○アブラナ科野菜 　アブラムシ類１回、コナガ２回、アオムシ１回、ハスモンヨトウ２回。 ○タマネギ 　ボトリチス属菌による葉枯れ２回、べと病２回、腐敗病・軟腐病２回、白色疫病１回。 ○イチゴ 　灰色かび病１回、アブラムシ類１回。
注 意 報	２ 回	２５０部	○タマネギ：べと病　１回 ○ナシ：黒斑病　１回
技術資料	２ 回	２４０部	○ナシ：ヒポキシロン幹腐病　１回 ○ＱｏＩ剤耐性イネいもち病菌　１回

３．発表内容

１）注意報

（１）第１号（平成２５年５月　２日）　　タマネギ：べと病
（２）第２号（平成２５年６月２４日）　　ナシ：黒斑病

２）技術資料

（１）第１号（平成２５年　４月１０日）　ナシ：ヒポキシロン幹腐病
（２）第２号（平成２５年１０月　２日）　ＱｏＩ剤耐性イネいもち病菌

【問い合わせ先】
島根県病害虫防除所〔担当：山本・永島〕
TEL:0853-22-6772　FAX:0853-24-3342
（島根県農業技術センター資源環境研究部病虫科内）

平成２５年度　病害虫発生予察情報　注意報第１号
（タマネギべと病）

平成２５年５月２日
島根県病害虫防除所

タマネギべと病が県内各地で発生しており、発病程度の極めて高い圃場が確認されています。今後タマネギの肥大期に当たり、病勢の急速な進展が懸念されますので注意報を発表します。現地では圃場の発生状況を把握し、防除の徹底をお願いします。

記

１．作物名　　タマネギ
２．病害名　　べと病
３．発生地域　　県内全域
４．予想発生量　　多
５．注意報発表の根拠

（1）4月30日の調査では、発生ほ場率が53.3%（平年15.3%）と平年を大きく上回り、平均発病株率は7.9%（平年0.83%）と過去10年間で最も高い。
（2）発病程度の高いほ場では、すでに薬剤による防除対策がなされているが、今後さらに感染が拡大する可能性は高い。
（3）今後の気象は本病の発生を特に抑制する要因とはならない。

６．防除対策および防除上の注意事項

（1）感染防止のため、薬剤による徹底防除を行う。
（2）球の肥大期ごろには抵抗力が急速に低下し、病勢が進みやすい。

７．薬剤防除（農薬登録内容は平成25年4月30日現在）

（1）種類および濃度
1）発生が見られる圃場では、以下の薬剤が効果がある。

薬剤名	希釈倍率	使用時期	使用回数	系統名
リドミルゴールドMZ	1000倍	収穫7日前まで	3回以内	ﾌｪﾆﾙｱﾐﾄﾞ系、ｼﾞﾁｵｶｰﾊﾞﾒｰﾄ系
リドミルMZ水和剤	500～750倍	収穫7日前まで	3回以内	ﾌｪﾆﾙｱﾐﾄﾞ系、ｼﾞﾁｵｶｰﾊﾞﾒｰﾄ系
フォリオゴールド	800～1000倍	収穫7日前まで	3回以内	ﾌｪﾆﾙｱﾐﾄﾞ系、ｸﾛﾛﾆﾄﾘﾙ
フォリオブラボ顆粒水和剤	1000倍	収穫7日前まで	3回以内	ﾌｪﾆﾙｱﾐﾄﾞ系、ｸﾛﾛﾆﾄﾘﾙ
リドミル銅水和剤	400～600倍	収穫7日前まで	3回以内	ﾌｪﾆﾙｱﾐﾄﾞ系、無機系化合物
フェスティバルM水和剤	750～1000倍	収穫7日前まで	3回以内	CAA、ｼﾞﾁｵｶｰﾊﾞﾒｰﾄ系
フェスティバルC水和剤	600～800倍	収穫7日前まで	3回以内	CAA、無機系化合物
プロポーズ顆粒水和剤	1000倍	収穫7日前まで	3回以内	CAA、ｸﾛﾛﾆﾄﾘﾙ

2）未発生圃場では、予防のために以下の薬剤が効果的である。

薬剤名	希釈倍率	使用時期	使用回数	系統名
ランマンフロアブル	2000倍	収穫7日前まで	4回以内	QiI
ドーシャスフロアブル	1000倍	収穫7日前まで	4回以内	QiI、ｸﾛﾛﾆﾄﾘﾙ
レーバスフロアブル	2000倍	収穫前日まで	2回以内	CAA
ベトファイター顆粒水和剤	2000倍	収穫7日前まで	3回以内	CAA、その他有機化合物
ブリザード水和剤	1200倍	収穫7日前まで	3回以内	その他の有機化合物、ｸﾛﾛﾆﾄﾘﾙ
カーゼートPZ水和剤	1000倍	収穫3日前まで	3回以内	その他の有機化合物、ｼﾞﾁｵｶｰﾊﾞﾒｰﾄ系
ホライズンドライフロアブル	2500倍	収穫3日前まで	3回以内	その他の有機化合物、QoI
アミスター20フロアブル	2000倍	収穫前日まで	4回以内	QoI
アミスターオプティフロアブル	1000倍	収穫7日前まで	4回以内	QoI、ｸﾛﾛﾆﾄﾘﾙ
シグナムWDG	1500倍	収穫7日前まで	3回以内	QoI、SDHI
フロンサイド水和剤	1000～2000倍	収穫7日前まで	5回以内	酸化的リン酸化阻害剤
フロンサイドSC	1000～2000倍	収穫3日前まで	5回以内	酸化的リン酸化阻害剤
ヨネポン水和剤	500倍	収穫7日前まで	5回以内	無機系化合物
ダコニール1000	1000倍	収穫 7日前まで	6回以内	ｸﾛﾛﾆﾄﾘﾙ
**マンゼブ水和剤	400～600倍	収穫 3日前まで	5回以内	ｼﾞﾁｵｶｰﾊﾞﾒｰﾄ系

注）**印の薬剤名は一般名であり、該当薬剤は複数あることから、使用に当たっては登録内容をよく確認する必要がある。

(2) 散布時期および回数
発生圃場では、同一系統の薬剤の連用は避け、5～7日おきに2回以上防除する。また、未発生圃場では7～10日ごとに予防散布を行う。降雨後はできるだけ早く薬剤散布を行う。

８．その他（病害に関する情報）

(1) 発生病害の特徴
べと病とは、タマネギべと病菌（*Peronospora destructor* ペロノスポーラ デストラクター）というかびの一種によっておきる病害で、感染力が強いことからタマネギ栽培では最も恐れられている病害である。

1) 症状
本病に感染すると、葉に黄色がかった楕円形の大きな斑点ができ、やがて葉が枯死する。湿度が高いと病斑上には白い霜状のかび（分生胞子）がみられる。

2) 伝染方法
秋に植えられた苗がべと病に感染していると、３月下旬ごろになって葉が湾曲して株全体が黄色くなり（このような症状を示す株を越年罹病株（えつねんりびょうかぶ）と呼ぶ）、後に株上に分生胞子とよばれるかびの胞子を大量に形成する。ここから飛散した分生胞子が健全な株に感染して、二次伝染を起こす。（４月下旬の状態）二次伝染株に分生胞子を形成し、さらに感染が広がる。（５月上旬以降）

(2) 防除
３月下旬ごろに見られる越年罹病株を抜き取ることが最も確実な方法である。ただし、べと病菌は感染力が強いため、１万本に１本、このような株が残っていても二次伝染を繰り返すことで、収穫期には多発生となる。このため、４月以降は薬剤による防除が必要となり、多発生が予想される場合には的確な薬剤防除が不可欠となる。

(3) 本県におけるタマネギべと病の注意報発表状況（警報の発表は無し）

発表年月日	発表時の状況
平成14年５月１日	発生圃場率33.3％、発病株率2.4％
20年５月１日	発生圃場率22.7％、発病株率6.2％
21年４月２日	越年罹病株発生圃場率16.7％、越年罹病株発病株率6.8株/１万株
22年４月５日	越年罹病株発生圃場率73.3％、越年罹病株発病株率18.9株/１万株

【問い合わせ先】
島根県病害虫防除所〔担当：伊藤・永島〕
TEL:0853-22-6772　FAX:0853-24-3342
（島根県農業技術センター資源環境研究部病虫科内）

平成２５年度　病害虫発生予察情報　注意報第２号
（ナシ黒斑病）

平成２５年６月２４日
島根県病害虫防除所

ナシ黒斑病が「二十世紀」で平年と比べて多く発生しており、一部では多発ほ場も確認されています。向こう一か月の気象も平年と比べ気温が高く、降水量も多いと予想されており、病勢の急速な進展が懸念されますので注意報を発表します。現地ではほ場の発生状況を把握し、防除の徹底をお願いします。

記

１．作物名　　ナシ（品種：二十世紀）
２．病害名　　黒斑病
３．発生地域　　「二十世紀」栽培地帯
４．予想発生量　　多い
５．注意報発表の根拠
1）6月21日の調査では、平均発病葉率は13.2%（平年5.8%）と過去10年間で最も高い。
2）一部では多発ほ場が認められる。
3）向こう一か月の気象も平年と比べ気温が高く、降水量も多いと予想されている。

６．防除対策
1）感染防止のため、薬剤による防除を徹底する。
2）ほ場内の風通しを良くするため、下草管理を行う。

７．薬剤防除
1）使用する薬剤については、島根県農作物病害虫雑草防除指針及び防除暦を参照し、使用基準を遵守する。
2）梅雨期間中の降雨によって新梢葉の発病が増加するので、7～10日ごとに散布を行う。
3）薬液が新梢先端まで十分かかるように丁寧に散布する。

８．その他（病害に関する情報）
1）ナシ黒斑病の特徴
ナシ黒斑病とは、*Alternaria kikuchiana*（アルタナリア　キクチアナ）というかびの一種によっておきる病害で、特に「二十世紀」では発病しやすく、重要病害である。
(1) 症状
葉、果実、新梢などに発生する。葉では黒色の斑点ができ、しだいに拡大して同心輪紋状の不正形病斑をつくり、やがて落葉する。幼果では小斑点ができ、果実が肥大するとともに急速に拡大して、亀裂ができてやがて落果する。成熟果では同心輪紋状軟腐病斑をつくる。
(2) 伝染方法
病芽、枝病斑及び罹病落葉で越冬し、3月下旬頃から胞子をつくり始めナシの生育期間を通じて伝染源となる。風雨で飛散した胞子は葉、果実、枝から侵入感染して発病する。さらに病斑上に新たな胞子をつくって二次伝染する。
2）ナシ黒斑病で行われる主な防除対策
(1)一次伝染源となる病芽、枝病斑及び罹病落葉を除去する。
(2)果実への感染を防ぐために袋かけが遅れないようにする。
(3)施肥の適正化等により遅伸び及び二次伸びをさせないようにする。
(4)ナシの生育期間中の薬剤防除が必要であり、特に5月の小袋かけ前から袋かけ中と梅雨期の防除が重要である。

【問い合わせ先】
島根県病害虫防除所［担当：山本・永島］
ＴＥＬ：０８５３－２２－６７７２
ＦＡＸ：０８５３－２４－３３４２

平成２５年度　病害虫発生予察情報　技術資料第１号

平成２５年４月１０日
島根県病害虫防除所

【概況】
平成24年９月、県西部のナシ園（品種：豊水）において、葉の紅葉や枝の皮目の増加・肥大の症状を示す樹が２本確認された（図1～３）。主幹の地際部を切断したところ、内部に腐朽が確認された（図４）。そこで、独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構果樹研究所に診断を依頼したところ、*Hypoxylon serpens*によるヒポキシロン幹腐病であることが判明した。
なお、本病は本州、四国、九州の各地で発生している。

１　病害虫名　ヒポキシロン幹腐病
２　病原名　*Hypoxylon serpens*
３　作物名　ナシ
４　発生場所　県西部
５　発生生態
１）病徴
春先の展葉の遅れ、葉に波打ちや小形化、初夏以降に早期紅葉・落葉、また当年枝における皮目の増大・肥大、木部の褐変を、果実では小形化、奇形、果点の拡大・蜜入りを引き起こす。初め枝単位で症状が現れるが、症状が激しくなると他の枝にも症状が現れ、最終的には樹全体が枯死に至る。そのような症状のある主幹の地際部には腐朽がみられる。
２）伝染経路
除草作業時に形成された付傷部やひこばえの除去時に生じた傷口及び剪定時や高接ぎ更新時の大きな傷口が侵入門戸となる。
３）宿主植物
*Hypoxylon serpens*は多犯性であり、多くの樹種に材質腐朽を引き起こすと考えられる。ただし、葉や枝での症状発生が知られているのはナシのみである。

６　防除対策
１）枯死した太枝、切株は伝染源となるため園内に放置せずに処分する。
２）除草作業時には地際部や露出した根に傷を付けないように注意する。
３）ペースト剤で切り口及び傷口のゆ合促進する。

７　萎縮病（類似病害）との見分け方
本病の類似病害に萎縮病（平成24年度　病害虫発生予察情報　特殊報第2号参照）がある。見分け方は下記の表のとおりである。

表１　ヒポキシロン幹腐病と萎縮病の症状による見分け方

	早期紅葉・落葉(図１)	当年枝の木部の褐変(図３)	葉縁の黒変
ヒポキシロン幹腐病	○	○	×
萎縮病	×	×	○

８　その他
疑わしい症状が発生している場合は、病害虫防除所（0853-22-6772）に連絡する。

図１　ナシヒポキシロン幹腐病の発病状況（早期紅葉）

図２　当年枝における皮目の増大・肥大
（上：本病症状、下：健全）

図３　当年枝における木部の褐変
（上：本病症状、下：健全）

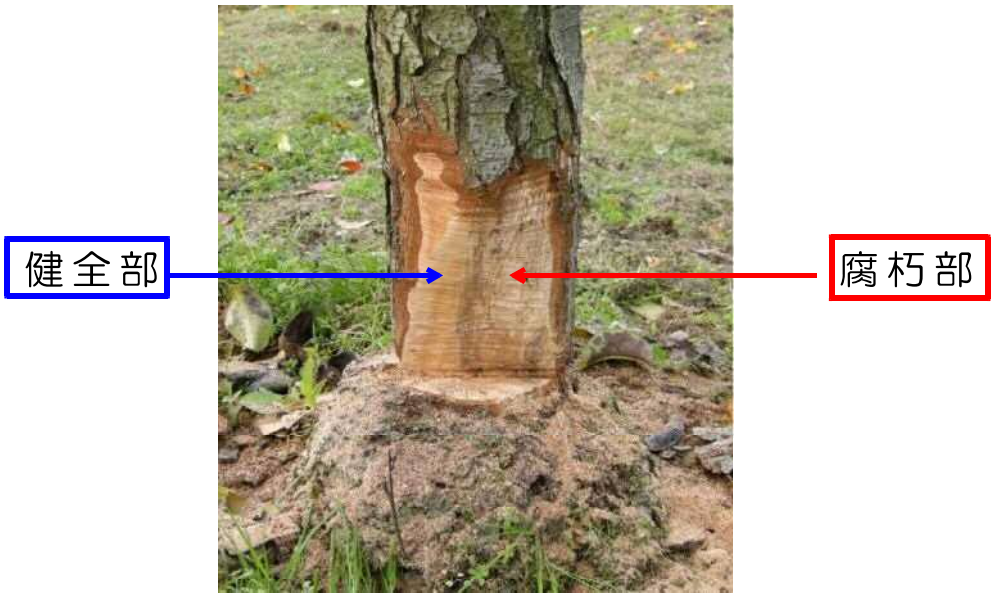

図４　主幹内部の腐朽

【問い合わせ先】
島根県病害虫防除所［担当：磯田・伊藤］
ＴＥＬ：０８５３－２２－６７７２
ＦＡＸ：０８５３－２４－３３４２
（島根県農業技術センター資源環境研究部病虫科内）

平成25年度　病害虫発生予察情報　技術資料第２号

平成25年10月２日
島根県病害虫防除所

QoI剤耐性イネいもち病菌の発生状況について

イネいもち病の防除薬剤であるストロビルリン系殺菌剤(以下、QoI剤）の耐性菌の発生状況について、平成17年以降、県内各地からいもち病の罹病標本を採取し耐性菌検定を実施しています。その結果、昨年、県西部のほ場で初めてQoI剤の耐性菌が確認されました。本年は県内での発生地域が拡大し、また、これまで発生が確認されていなかった一部の県でも発生が報告されています。県内の発生状況と対策は下記のとおりです。

記

１．QoI剤耐性菌の発生状況
１）平成17年～平成23年
耐性菌の発生を認めていない。
２）平成24年
穂いもちを73ほ場から採取し、単胞子分離した73菌株（１ほ場１菌株）を検定した。その結果、県西部の１地点３ほ場（4.1%）で耐性菌の発生を確認した（表１）。
３）平成25年
葉いもちまたは穂いもちを112ほ場から採取した。単胞子分離した112菌株（1ほ場1菌株）を耐性菌検定した結果、県西部の13ほ場（11.6%）で耐性菌の発生が認められた（表１）。

表１　QoI剤耐性菌の発生状況

調査年	調査ほ場数	耐性菌ほ場数
平成24年	73	3（ 4.1%)
平成25年	**112**	**13（11.6%)**

２．防除対策
１）QoI剤の育苗箱処理剤の使用は速やかに中止し、他系統の薬剤を使用する。
２）QoI剤の本田散布剤は、他系統の育苗箱処理剤との体系防除で使用する。
ただし、既発生地域の使用と未発生地域でも多発生時の使用は避ける。
３）採種圃場およびその周辺圃場では、QoI剤を使用しない。
４）耕種的な防除対策（種子更新、塩水選、種子消毒の実施等）を徹底する。

Ⅷ）気象表（平成25年）

観測地点：出雲市芦渡町２４４０（海抜２０ｍ）

月	半旬	最高気温 本年	最高気温 平年	最低気温 本年	最低気温 平年	平均気温 本年	平均気温 平年	降水量 本年	降水量 平年	日照時数 本年	日照時数 平年
1月	1	5.9	9.1	-0.1	1.7	2.9	5.4	7.0	19.1	8.4	9.7
	2	7.7	8.6	1.3	1.4	4.3	5.0	0.0	20.3	9.2	9.1
	3	8.5	8.3	0.5	1.2	4.8	4.8	19.0	21.0	6.5	9.0
	4	7.3	8.0	-0.9	0.9	3.6	4.5	10.5	20.5	8.7	8.9
	5	9.4	7.7	1.5	0.7	5.0	4.2	43.5	18.9	5.6	8.6
	6	7.3	7.6	-0.3	0.5	3.2	4.0	13.0	20.2	17.5	11.6
合計,平均		7.7	8.2	0.3	1.1	4.0	4.7	15.5	20.0	9.3	9.5
2月	1	12.0	7.9	4.2	0.4	8.2	4.2	18.5	15.3	7.3	11.5
	2	6.7	8.5	-0.3	0.6	3.3	4.6	8.5	15.2	9.6	12.8
	3	8.3	9.0	0.7	0.7	4.3	4.9	17.0	16.8	17.5	13.7
	4	6.5	9.2	0.0	0.7	3.5	4.9	30.0	18.7	5.4	14.9
	5	8.0	9.4	-0.6	0.7	4.6	5.1	0.5	20.0	25.4	16.1
	6	12.6	9.8	-0.2	0.9	6.7	5.4	0.0	12.3	13.8	10.2
合計,平均		9.0	9.0	0.6	0.7	5.1	4.9	12.4	16.4	13.2	13.2
3月	1	10.6	10.3	0.9	1.2	6.3	5.8	29.0	20.3	26.9	18.1
	2	19.7	11.1	5.6	1.6	13.1	6.4	5.0	18.9	34.0	20.0
	3	13.1	12.0	-1.0	2.0	6.7	7.2	18.0	18.6	38.1	22.1
	4	17.6	12.7	5.4	2.5	12.0	7.8	24.5	19.6	21.3	23.4
	5	13.0	13.3	2.3	2.9	7.9	8.3	0.0	20.5	28.2	23.5
	6	14.2	14.0	4.3	3.5	9.1	9.0	4.0	24.0	24.2	29.5
合計,平均		14.7	12.2	2.9	2.3	9.2	7.4	13.4	20.3	28.8	22.8
4月	1	17.5	15.3	4.8	4.2	11.5	10.0	20.0	18.9	30.6	27.6
	2	13.7	16.4	5.5	5.2	9.8	11.1	56.5	18.9	15.8	29.3
	3	16.0	17.4	4.4	6.2	11.2	12.0	3.0	19.0	44.3	29.8
	4	17.6	18.3	7.9	7.1	12.3	12.9	10.0	18.4	21.7	30.5
	5	16.4	19.3	4.8	7.9	11.6	13.8	30.0	17.6	28.6	31.7
	6	19.9	20.2	6.4	8.7	13.8	14.7	8.5	18.3	33.6	33.1
合計,平均		16.9	17.8	5.6	6.6	11.7	12.4	21.3	18.5	29.1	30.3
5月	1	17.1	21.1	6.5	9.7	11.7	15.6	4.0	20.8	34.1	33.2
	2	20.9	21.6	8.4	10.5	15.1	16.2	10.5	23.1	47.1	32.2
	3	24.5	21.8	9.6	10.9	17.7	16.5	3.5	23.6	51.6	32.1
	4	22.7	22.2	13.1	11.5	17.7	17.0	13.0	21.2	32.7	33.2
	5	26.8	22.9	10.3	12.1	18.9	17.6	0.0	19.1	61.0	34.4
	6	25.6	23.7	15.9	12.9	21.0	18.4	23.0	23.3	23.0	41.3
合計,平均		22.9	22.2	10.6	11.3	17.0	16.9	9.0	21.9	41.6	34.4
6月	1	26.6	24.5	14.7	13.9	20.3	19.2	7.0	18.0	39.8	33.6
	2	27.4	25.3	15.6	14.8	21.6	20.0	0.0	16.6	38.9	32.1
	3	30.3	25.8	21.0	15.8	24.7	20.6	25.0	21.0	26.4	30.0
	4	26.2	26.0	20.4	17.0	23.0	21.3	154.5	34.4	16.4	26.0
	5	25.4	26.2	18.3	18.0	21.5	21.8	7.5	51.3	14.8	21.3
	6	28.1	26.5	19.9	18.9	23.3	22.4	40.5	60.2	29.0	19.7
合計,平均		27.3	25.7	18.3	16.4	22.4	20.9	39.1	33.6	27.6	27.1

＊：準正常値(品質に軽微な問題があるか、または統計値を求める対象となる資料の一部が許容する範囲内で欠けている)を含む値。

月	半旬	最高気温 本年	最高気温 平年	最低気温 本年	最低気温 平年	平均気温 本年	平均気温 平年	降水量 本年	降水量 平年	日照時数 本年	日照時数 平年
7	1	30.6	27.1	22.1	19.7	26.5	23.2	51.5	55.7	18.8	21.5
	2	31.3	27.9	22.8	20.5	27.1	24.0	54.0	51.1	46.0	22.9
	3	30.8	28.7	23.4	21.1	27.6	24.6	3.0	51.4	38.2	24.3
	4	30.5	29.4	22.0	21.6	26.4	25.2	4.0	45.0	47.5	28.9
月	5	31.7	30.2	23.4	22.0	27.9	25.8	0.0	31.1	36.6	34.2
	6	30.6	30.9	24.2	22.3	27.4	26.3	43.5	22.6	30.3	43.9
合計, 平均		30.9	29.0	23.0	21.2	27.2	24.9	26.0	42.8	36.2	29.3
8	1	30.3	31.4	24.1	22.4	27.1	26.6	75.0	15.8	21.4	36.9
	2	32.5	31.6	25.0	22.4	29.2	26.6	0.0	18.3	50.3	36.0
	3	32.7	31.4	23.3	22.5	28.0	26.5	0.0	20.6	57.2	34.2
	4	34.0	31.0	23.6	22.2	28.6	26.2	0.0	21.0	57.2	33.2
月	5	31.2	30.6	23.7	21.7	26.9	25.8	95.0	20.9	21.8	32.5
	6	30.3	30.2	21.2	21.0	25.5	25.2	82.5	27.3	32.2	37.3
合計, 平均		31.8	31.0	23.5	22.0	27.6	26.2	42.1	20.7	40.0	35.0
9	1	24.9	29.3	19.0	20.3	21.3	24.4	149.0	27.6	5.8	28.5
	2	26.7	28.2	18.1	19.4	22.1	23.4	52.5	32.0	30.9	26.2
	3	29.2	27.3	21.0	18.4	24.6	22.5	2.5	32.6	24.9	25.4
	4	27.9	26.5	14.0	17.3	21.3	21.6	1.0	31.6	56.1	25.4
月	5	29.0	25.5	18.5	16.2	23.2	20.5	3.0	30.4	40.9	24.7
	6	25.7	24.5	14.8	15.1	20.1	19.5	1.0	26.6	22.8	24.0
合計, 平均		27.2	26.9	17.6	17.8	22.1	22.0	34.8	30.1	30.2	25.7
10	1	24.4	23.7	15.3	14.0	19.8	18.6	25.5	21.3	21.8	24.3
	2	28.4	23.1	19.6	13.0	23.3	17.8	5.5	18.9	17.0	25.4
	3	24.7	22.4	12.8	11.8	18.9	16.9	30.5	18.8	34.8	26.6
	4	20.2	21.4	10.9	10.6	15.5	15.8	13.0	18.6	20.9	26.9
月	5	19.9	20.4	14.9	9.7	17.4	14.8	193.0	17.5	5.6	25.4
	6	19.5	19.5	8.2	8.9	13.4	14.0	5.0	21.5	31.4	28.4
合計, 平均		22.9	21.8	13.6	11.3	18.1	16.3	45.4	19.4	21.9	26.2
11	1	20.0	18.8	9.6	8.3	14.1	13.4	11.5	18.9	29.3	22.7
	2	20.2	17.9	9.3	7.9	15.5	12.8	13.5	19.8	18.7	21.0
	3	15.1	16.7	5.6	7.2	10.3	11.9	60.5	20.4	15.5	18.0
	4	13.4	15.5	6.3	6.1	10.2	10.9	15.5	19.1	11.1	16.6
月	5	15.4	14.7	6.7	5.2	11.2	10.0	13.0	18.8	17.5	15.7
	6	10.9	13.8	3.9	4.8	7.6	9.3	14.5	21.5	6.2	14.3
合計, 平均		15.8	16.2	6.9	6.6	11.5	11.4	21.4	19.8	16.4	18.1
12	1	13.3	12.9	3.3	4.3	8.4	8.6	12.0	23.8	16.9	13.2
	2	13.1	12.1	4.4	3.8	9.3	8.0	34.5	22.9	9.7	12.1
	3	8.7	11.2	3.6	3.4	6.2	7.4	26.5	20.5	5.8	11.2
	4	8.8	10.6	2.4	3.0	5.7	6.9	34.0	18.6	1.6	11.0
月	5		10.3		2.6		6.5	0.0	17.8	0.9	11.5
	6	10.0	9.8	4.2	2.1	7.3	6.0	3.0	21.5	3.8	13.1
合計, 平均		10.8	11.2	3.6	3.2	7.4	7.2	18.3	20.9	6.5	12.0

西暦年の1位が1の年から数えて、連続する30年間について算出した累年平均値を平年値という。これをその統計期間に引き続く10年間使用し、10年ごとに更新する。したがって2011～2020年の間は、1981～2010年(昭和46～平成12年)の資料から算出された平年値を使用する。

平成２５年度　農作物有害動植物発生予察事業年報
２０１９年　３月　１日　発行
編集･発行　島 根 県 農 業 技 術 セ ン タ ー
（資源環境研究部　病虫科）
島 根 県 病 害 虫 防 除 所
〒693-0035　島根県出雲市芦渡町２４４０番地
電　　話　（０８５３）２２－６７７２
Ｆ Ａ Ｘ　（０８５３）２４－３３４２